

短期大学生調査及び短期大学卒業生調査 のデータ活用事例について

日 時 ： 令和6年1月11日（木） 15：00～16：35

開催形態：オンライン（Zoom）

発表者：大学・短期大学基準協会調査研究委員会

調査分析チーム 堺完（桜美林大学） ・ 宮里翔大（桜美林大学）

アウトライン

1. 本セミナーの趣旨と調査事業の概要
2. フィードバック内容をもとにした可視化の方法
 - 2-1. 短期大学生（在学生）調査のデータ活用事例について
 - 2-2. 卒業生調査のデータ活用事例について
 - 2-3. 在学生調査・卒業生調査のデータ活用事例について

1. 本セミナーの趣旨と調査事業の概要

本セミナーの趣旨

- グランドデザイン答申、教学マネジメント指針が重視する「学修者本位」の教育
- 各大学が教育上の方針や目標を設定し、それに基づく学修目標の達成状況を把握、継続的な改善を行うよう求められている
= 教育の内部質保証
- 上記を把握する方法として、在学生への学生調査や卒業生へのアンケート調査が例示

学生調査事業の概要と実績

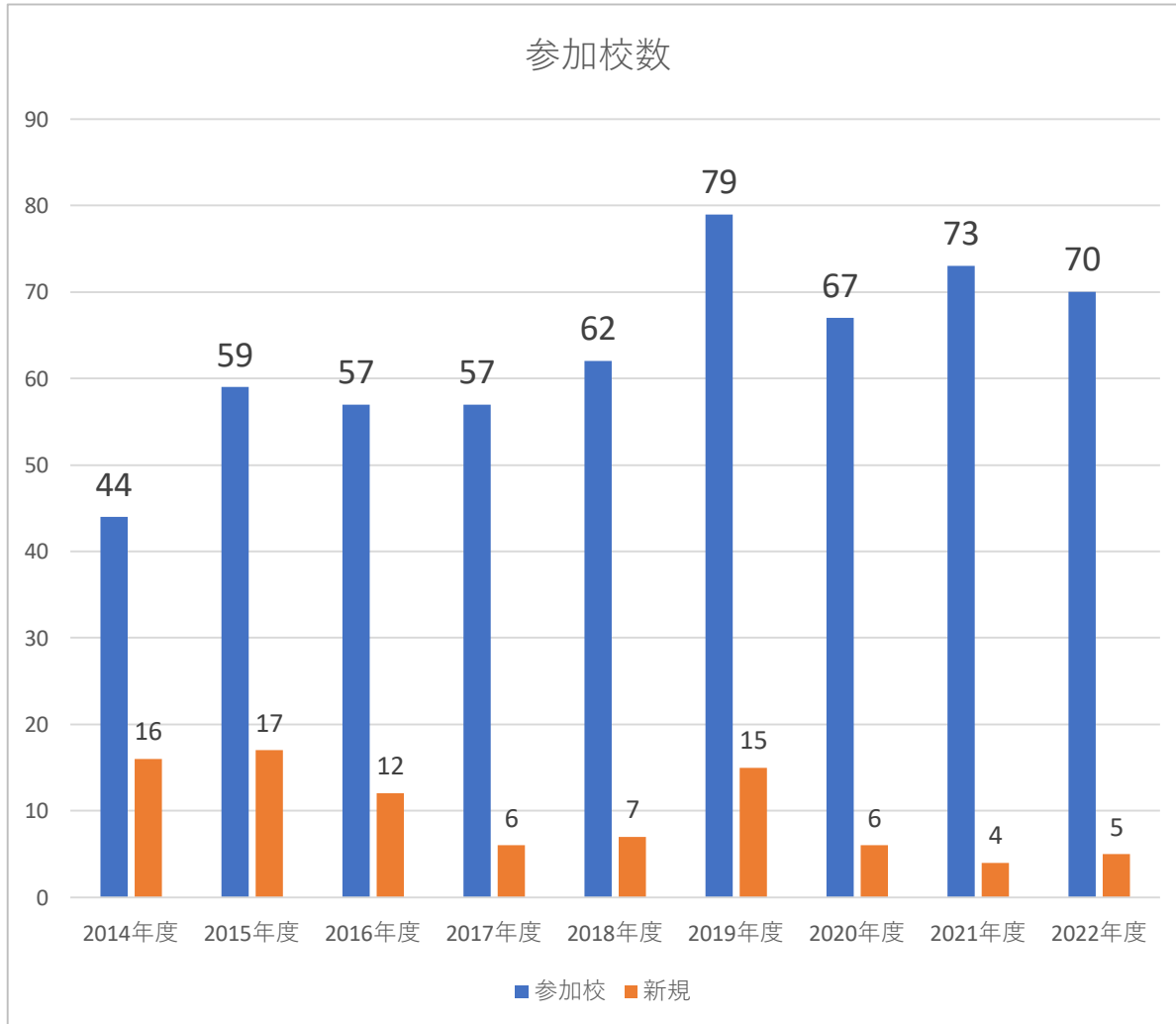
短期大学生調査（在学生）

- 各短期大学における自己点検・評価や内部質保証サイクルに資するデータ収集ツールの提供
- 調査研究委員会にて、2008年度から10年間「短期大学における主体的改革・改善に資する自己点検・評価方法に関する調査研究として研究開発
- 日本版大学生調査（JCSS）を一部編集して短大生調査（JJCSS）を2008年度より実施
- **2014年度**に調査内容を大幅に見直して、**短大生調査（*Tandaiseichousa*）に改定**
- **2015年度より希望校に対して分野分類コードによる学科・専攻課程別の集計を実施**可能に
- 2018年度より「短期大学生調査」を事業化
- **2020年度より希望校に対して質問紙調査の代替手段としてweb調査を実施**

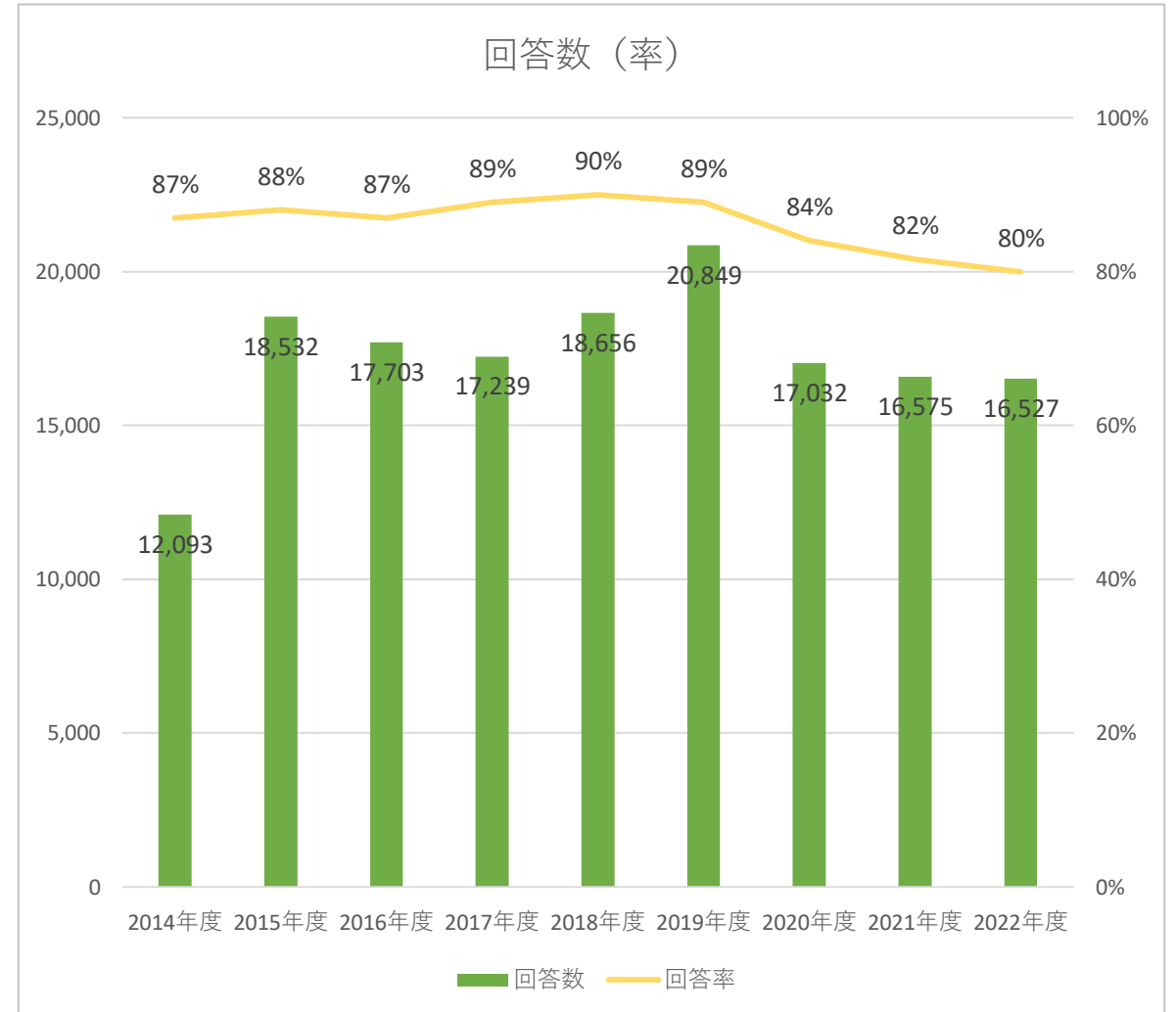
学生調査事業の概要と実績

短期大学生調査（在学生） 調査実績

参加校数



回答数（率）



学生調査事業の概要と実績

短期大学生調査の設問内容

設問番号	設問内容	回答数	設問番号	設問内容	回答数
問1	性別	1	問14	読書経験（量）	2
問2	年齢	1	問15	課外活動の経験	6
問3	学年	1	問16	現在の成績状況	1
問4	居住形態	1	問17	満足度（施設・学生サービス）	13
問5	通学時間	1	問18	満足度（教育）	6
問6	志望度（第一志望）	1	問19	入学後の知識・技能の変化	22
問7	内部進学者	1	問20	将来のキャリア志望	1
問8	入試区分	1	問21	学内の経済的援助の有無	1
問9	進学選択時の重要度	15	問22	学費等の経済的負担割合	1
問10	進学アスピレーション	1	問23	学生生活の充実度	1
問11	授業における経験	17	問24	他者への短期大学推奨度	1
問12	1週間あたりの活動時間	4	問25	短期大学の総合評価	5
問13	教員との関わり合い	4			

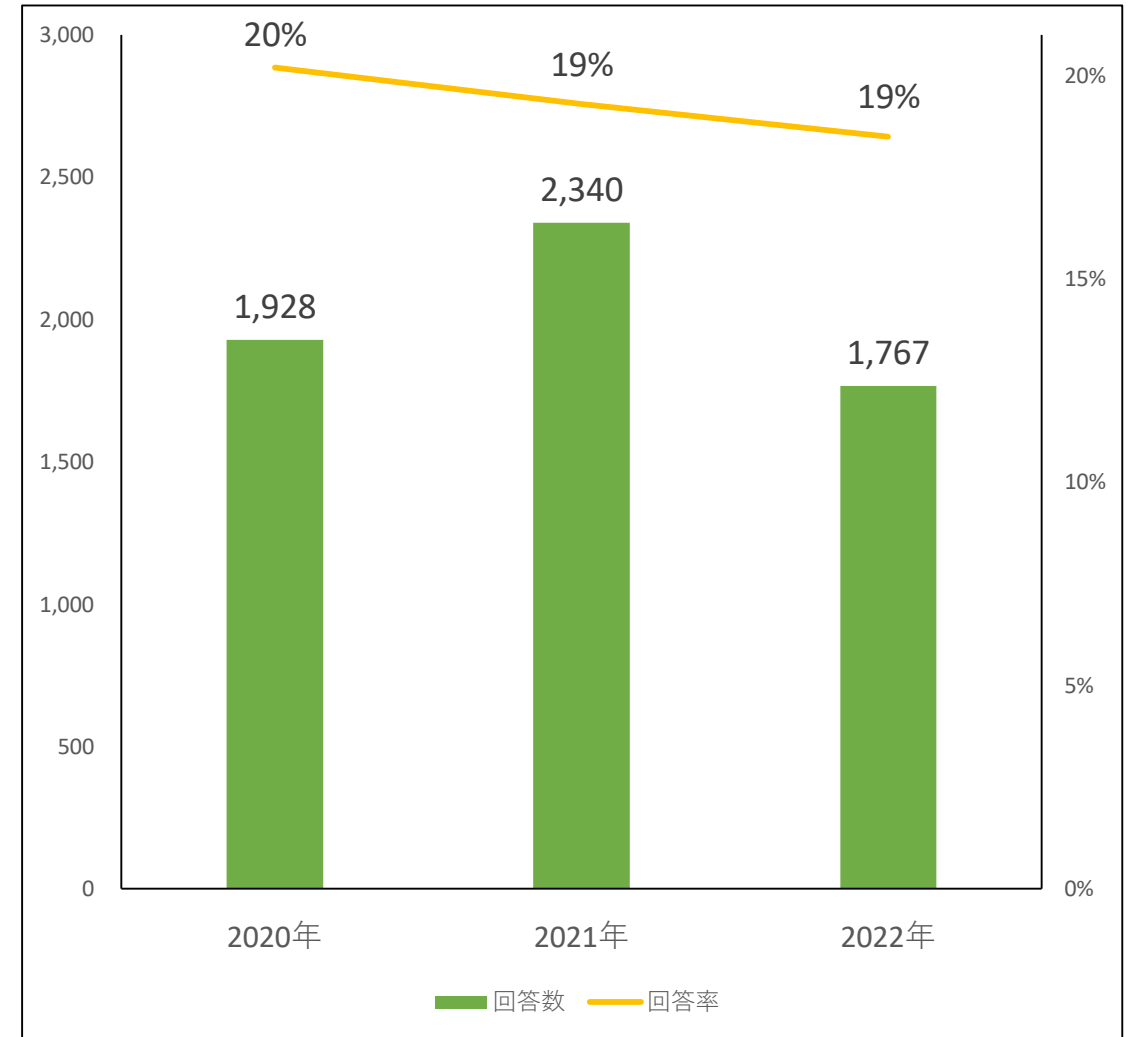
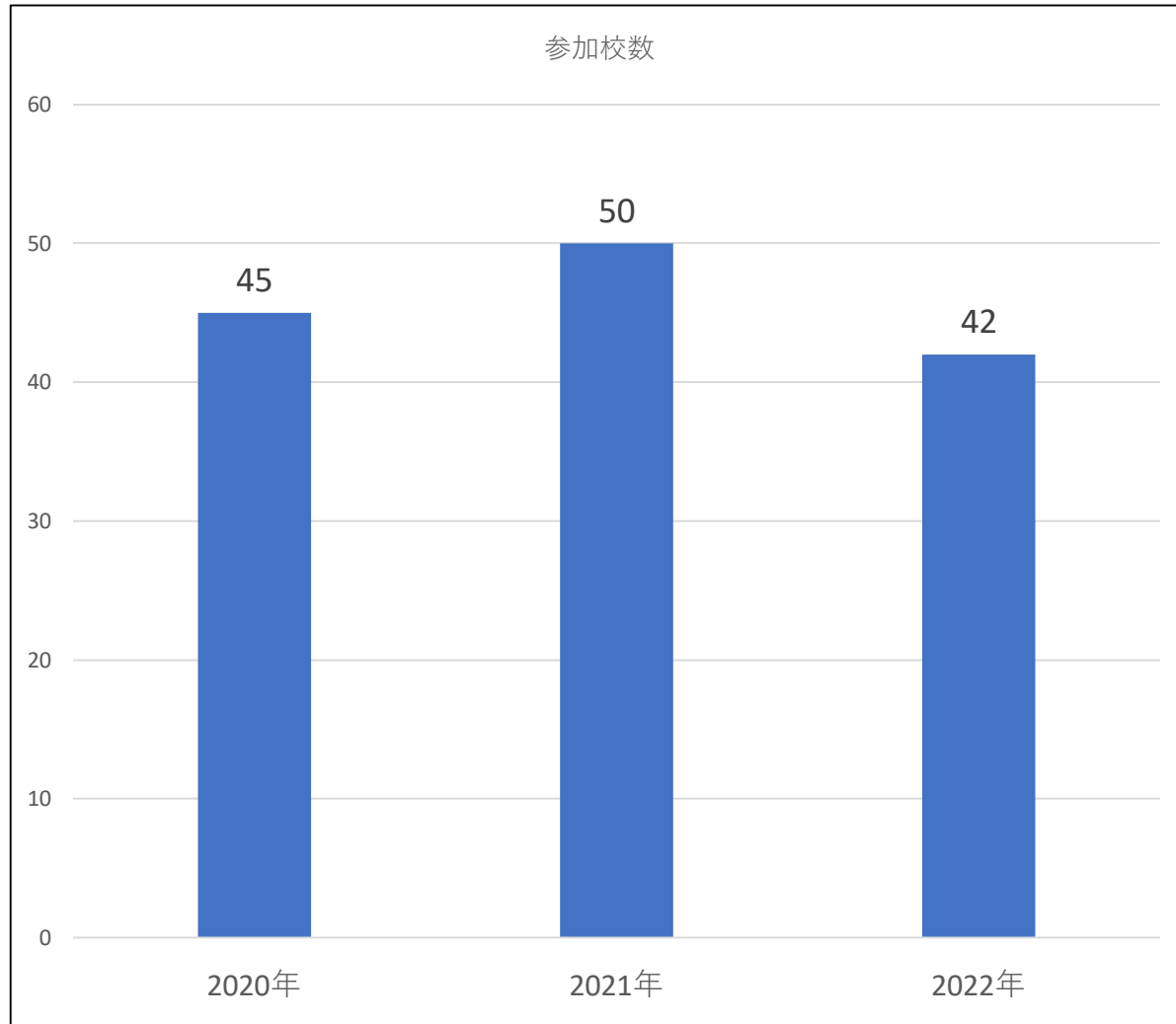
学生調査事業の概要と実績

短期大学卒業生調査

- **短期大学で学ぶ意義（短期大学の特色との整合性）、在学時の教育プログラムと卒業後の職業との関連性（レリバンズ）を確認**できる調査をコンセプトとして、2018年度より研究開発
- 2018-2019年度に質問内容、実施方法等の調査設計を行い、2019年度に試行調査を実施
- 2020年度より全会員校向けに卒業生調査を実施
- **調査対象者は「原則卒業後1年目、3年目、5年目に該当する者」に限定**
- 参加校から対象の卒業生に調査依頼状を郵送等し、依頼状にある**QRコードからウェブアンケートフォームにアクセスし回答**
- 2020,2021年度の全体調査実施状況を踏まえて、2022年度より「短期大学卒業生調査」を事業化

学生調査事業の概要と実績

短期大学卒業生調査調査実績



学生調査事業の概要と実績

短期大学卒業生調査の設問内容

設問番号	設問内容	回答数	設問番号	設問内容	回答数
問1	短大／回答者ID	2	問11	現在のキャリア	1
問2	性別	1	問12	現在の業種／ <u>就職先*</u>	2
問3	最終学歴	1	問13	現在の雇用形態	1
問4	短大に対する総合評価	6	問14	在学時に取得した免許資格の活用	1
問5	短大教育の学習（修）成果	22	問15	卒業後の短大との関わり	12
問6	短大推奨度	1	問16	短大への卒業後の支援・要望	16
問7	卒業直後のキャリア	1	問17	<u>短大で学んでよかったこと*</u>	1
問8	卒業直業の業種／ <u>就職先*</u>	2	問18	<u>短期大学でもっと学びたかったこと／改善してほしいこと*</u>	1
問9	卒業直業の雇用形態	1	問19	<u>短大の後輩へのアドバイス*</u>	1
問10	卒業直業の勤続年数	1		* 自由記述	

➤調査実施後、実施担当者を対象としたアンケートに みる参加校の活用実態

⇒直近3回（2020,2021,2022年度）の実施後アンケート（毎年参加校の
約3割がアンケートに回答）

- 継続的に調査に参加している短期大学では、教務や入試広報、学生支援、自己点検・評価関連の委員会等にて調査結果を報告
- 一部の短期大学では、**FDやSDとして調査結果を教職員で共有したり、執行部の会議等でも報告したりと学生の現状を把握する資料として活用**
- 全体と個別の比較や経年比較、学科・専攻課程別の比較などを中心に、調査結果を活用している様子がうかがえる。

☆ただ、実施後アンケートに回答してくれるところは大体固定化し、それ以外（アンケート未回答の6～7割）の参加校が実際にどのように活用しているか（もしくは活用されていないか）は不透明

- 今回のセミナーの目的は、調査結果やデータを実際に見てもらう、使ってもらうための方法や考え方、事例を示し、データの活用につなげてもらうこと

※前年度セミナーの内容と重複するところがあります。ご了承ください。

- 基本的には**参加校にフィードバックされているファイルをもとに、エクセルでできることを中心に可視化（見える化）の方法を紹介**
- 調査実施後に返ってきた調査結果やデータを使ってどんなことができるか順にみていく

短期大学生調査のフィードバック内容

1. 全体集計表①（各設問の単純集計結果）
2. 全体集計表②（性別,学年等と各設問のクロス集計結果）
3. 個別短期大学の回答データ（ローデータ）
4. 個別短期大学の全体集計表①（各設問の単純集計結果）
5. 個別短期大学の全体集計表②（性別,学年等と各設問のクロス集計結果）
6. グラフ・表作成用テンプレート

【学科・専攻課程別】※追加料金

7. 個別短期大学（学科・専攻課程別）全体集計表①（各設問の単純集計結果）
8. 個別短期大学（学科・専攻課程別）全体集計表②（性別,学年等と各設問のクロス集計結果）

（注）卒業生調査は上記のうち、「1. 3. 6.」を返却しています。個別短期大学の集計表はグラフ・表作成テンプレートを使って3. のローデータから作成ができます。なお、卒業生調査では学科別集計は実施していません。

2021_00_全体集計

ファイル ホーム 共有 表示

市ヶ谷短期大学 (ダミー) > 2021 > 2021_00_全体集計

名前

- 2021_00_全体_単純集計
- 2021_00_全体_Q1クロス集計
- 2021_00_全体_Q3クロス集計
- 2021_00_全体_Q6クロス集計
- 2021_00_全体_Q7クロス集計
- 2021_00_全体_Q8クロス集計
- 2021_00_全体_Q16クロス集計

クイック アクセス

- Creative Cloud Files
- OneDrive
- PC
- 3D オブジェクト
- ダウンロード
- デスクトップ
- ドキュメント
- ピクチャ
- ビデオ
- ミュージック
- Windows (C:)

2021_01_市ヶ谷短期大学

ファイル ホーム 共有 表示

市ヶ谷短期大学 (ダミー) > 2021 > 2021_01_市ヶ谷短期大学

名前	種類	サイズ
2021_01_市ヶ谷短期大学_ローデータ	Microsoft Excel ワークシート	91 KB
2021_01_市ヶ谷短期大学_単純集計	Microsoft Excel ワークシート	124 KB
2021_01_市ヶ谷短期大学_Q1クロス集計	Microsoft Excel ワークシート	95 KB
2021_01_市ヶ谷短期大学_Q3クロス集計	Microsoft Excel ワークシート	114 KB
2021_01_市ヶ谷短期大学_Q6クロス集計	Microsoft Excel ワークシート	96 KB
2021_01_市ヶ谷短期大学_Q7クロス集計	Microsoft Excel ワークシート	96 KB
2021_01_市ヶ谷短期大学_Q8クロス集計	Microsoft Excel ワークシート	121 KB
2021_01_市ヶ谷短期大学_Q16クロス集計	Microsoft Excel ワークシート	115 KB
2021_01_市ヶ谷短期大学健康栄養学科_単純集計	Microsoft Excel ワークシート	122 KB
2021_01_市ヶ谷短期大学健康栄養学科_Q1クロス集計	Microsoft Excel ワークシート	94 KB
2021_01_市ヶ谷短期大学健康栄養学科_Q3クロス集計	Microsoft Excel ワークシート	111 KB
2021_01_市ヶ谷短期大学健康栄養学科_Q6クロス集計	Microsoft Excel ワークシート	95 KB
2021_01_市ヶ谷短期大学健康栄養学科_Q7クロス集計	Microsoft Excel ワークシート	92 KB
2021_01_市ヶ谷短期大学健康栄養学科_Q8クロス集計	Microsoft Excel ワークシート	118 KB
2021_01_市ヶ谷短期大学健康栄養学科_Q16クロス集計	Microsoft Excel ワークシート	111 KB
2021_01_市ヶ谷短期大学子ども教育学科_単純集計	Microsoft Excel ワークシート	119 KB
2021_01_市ヶ谷短期大学子ども教育学科_Q1クロス集計	Microsoft Excel ワークシート	90 KB
2021_01_市ヶ谷短期大学子ども教育学科_Q3クロス集計	Microsoft Excel ワークシート	107 KB
2021_01_市ヶ谷短期大学子ども教育学科_Q6クロス集計	Microsoft Excel ワークシート	91 KB
2021_01_市ヶ谷短期大学子ども教育学科_Q7クロス集計	Microsoft Excel ワークシート	91 KB
2021_01_市ヶ谷短期大学子ども教育学科_Q8クロス集計	Microsoft Excel ワークシート	113 KB
2021_01_市ヶ谷短期大学子ども教育学科_Q16クロス集計	Microsoft Excel ワークシート	108 KB

クイック アクセス

- Creative Cloud Files
- OneDrive
- PC
- 3D オブジェクト
- ダウンロード
- デスクトップ
- ドキュメント
- ピクチャ
- ビデオ
- ミュージック
- Windows (C:)
- ローカル ディスク (D:)
- ネットワーク

グラフ・表作成用テンプレート

ファイル ホーム 共有 表示

市ヶ谷短期大学 (ダミー) > 2021 > グラフ・表作成

名前	種類	サイズ
2021_グラフ・表作成用_市ヶ谷短期大学	Microsoft Excel ワ...	6,014 KB
グラフ・表作成用テンプレートについて	Adobe Acrobat D...	286 KB

クイック アクセス

- Creative Cloud Files
- OneDrive
- PC

- 今回のセミナーで使用するデータや設問内容
- ・短期大学生（在学生）調査**2018年度， 2019年度**
 - ・卒業生調査**2020年度， 2022年度**

使用するデータ①

- 過去の短期大学生調査データの一部を利用編集して、仮想の短期大学の調査データを作成
- 経年比較や学年、学科・専攻課程別比較を可能とするため、2か年分、2学科分のデータあり
- 仮想データ（市ヶ谷短期大学）のプロファイル

	幼児教育学科		地域デザイン学科		計
	1年生	2年生	1年生	2年生	
2018年度	104	99	44	46	293
2019年度	101	103	42	43	289
計	205	202	86	89	582

2-1.で使用する設問内容

- 問9_進学選択時の重要度

全15項目で「重視した」「やや重視した」「あまり重視してない」「まったく重視してない」の4件法で項目ごとに択一回答

- 問11_授業における経験

全17項目で「よくあった」「ときどきあった」「あまりなかった」「まったくなかった」の4件法で項目ごとに択一回答

- 問17_満足度（施設・学生サービス）

全13項目で「5=満足」「4=やや満足」「3=普通」「2=やや不満」「1=不満」の5件法で項目ごとに択一回答。大学に項目に該当する施設やサービスがない場合は「9=該当なし」を回答可。今回は「該当なし」は集計除外

- 問18_満足度（教育）

全6項目で「5=満足」「4=やや満足」「3=普通」「2=やや不満」「1=不満」の5件法で項目ごとに択一回答。項目に関連した教育を受けたことがない場合は「わからない」を回答可。今回は「わからない」は集計除外

使用するデータ②

- 過去の短期大学卒業生調査データの一部を利用編集して、仮想の短期大学の調査データを作成
- 「2019年度（2020年）3月」に卒業した学生を対象。卒業生調査2020年度に卒後1年目に、卒業生調査2022年度に卒後3年目に回答
- 経年比較を可能とするため、2か年分、2学科分のデータあり
- 仮想データ（市ヶ谷短期大学）のプロファイル

	2019年度卒業		計
	幼児教育	地域デザイン	
2020年度	29	13	42
2022年度	17	5	22
計	46	18	64

2-2.と2-3.で使用する設問内容

【短期大学生（在学生）調査】

• 問19_入学後の知識・技能の変化

全22項目で「5=大きく増えた」「4=増えた」「3=変わってない」「2=減った」「1=大きく減った」の5件法で項目ごとに択一回答

• 問25_短期大学の総合満足度

短期大学の他の学生、教員、職員、キャンパス、在学時の学び全般の全5項目を「5=とても肯定的」「4=やや肯定的」「3=中間評価」「2=やや否定的」「1=とても否定的」の5件法で項目ごとに択一回答

【短期大学卒業生調査】

• 問5_学習（修）成果について

全22項目で「5=役に立った」「4=ある程度役に立った」「3=どちらともいえない」「2=あまり役に立っていない」「1=役に立っていない」の5件法で項目ごとに択一回答

• 問4_短期大学の総合満足度

短期大学の他の学生、教員、職員、キャンパス、在学時の学び全般、短期大学の総合評価の全6項目を「5=そう思う」「4=ややそう思う」「3=どちらでもない」「2=あまりそう思わない」「1=そう思わない」の5件法で項目ごとに択一回答

※短期大学生調査（在学生）と卒業生調査とで選択肢の表現は異なるが、項目内容は1項目を除き同じ

2. フィードバック内容をもとにした可視化の方法

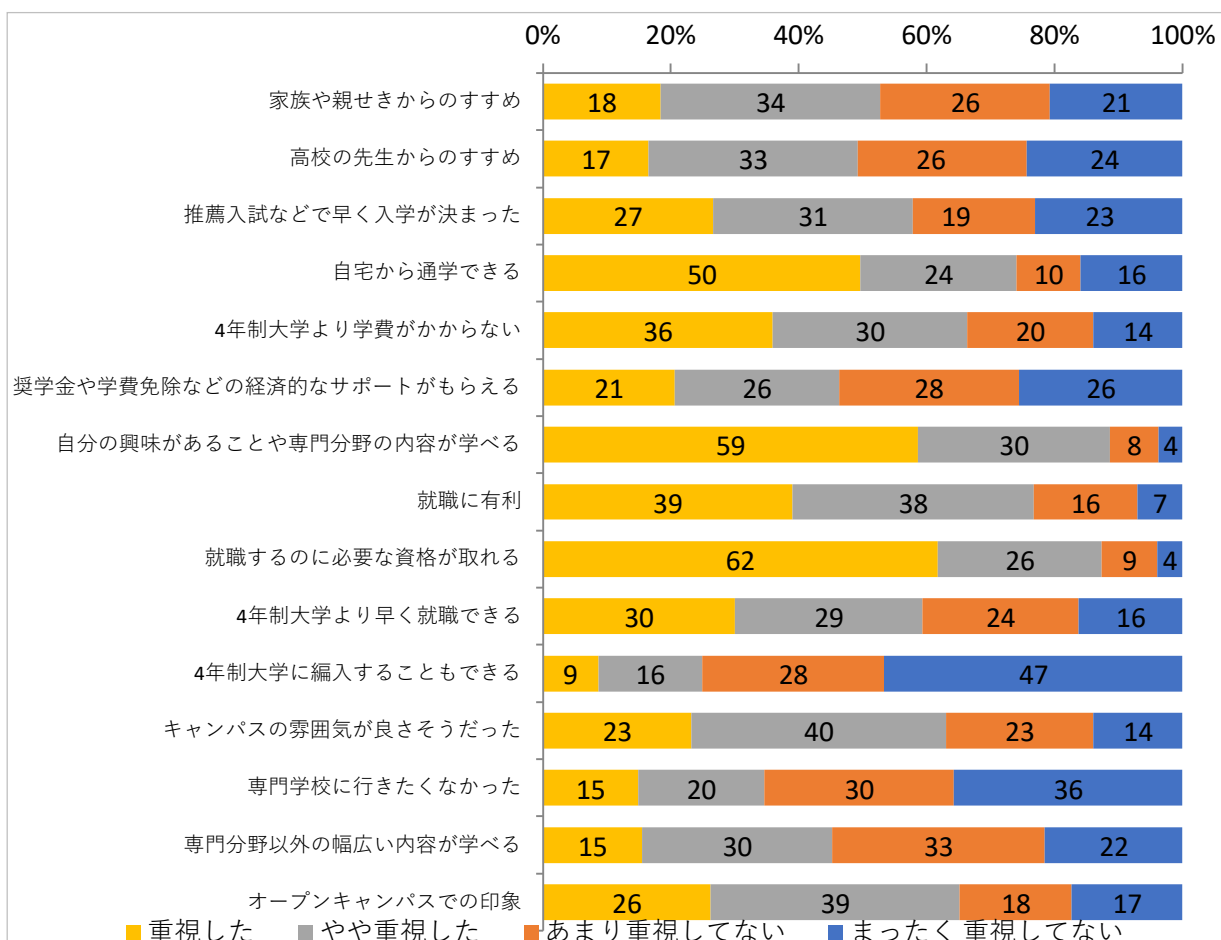
2-1. 短期大学生（在学学生）調査の データ活用事例について

フィードバック内容を可視化する際のポイント (1)

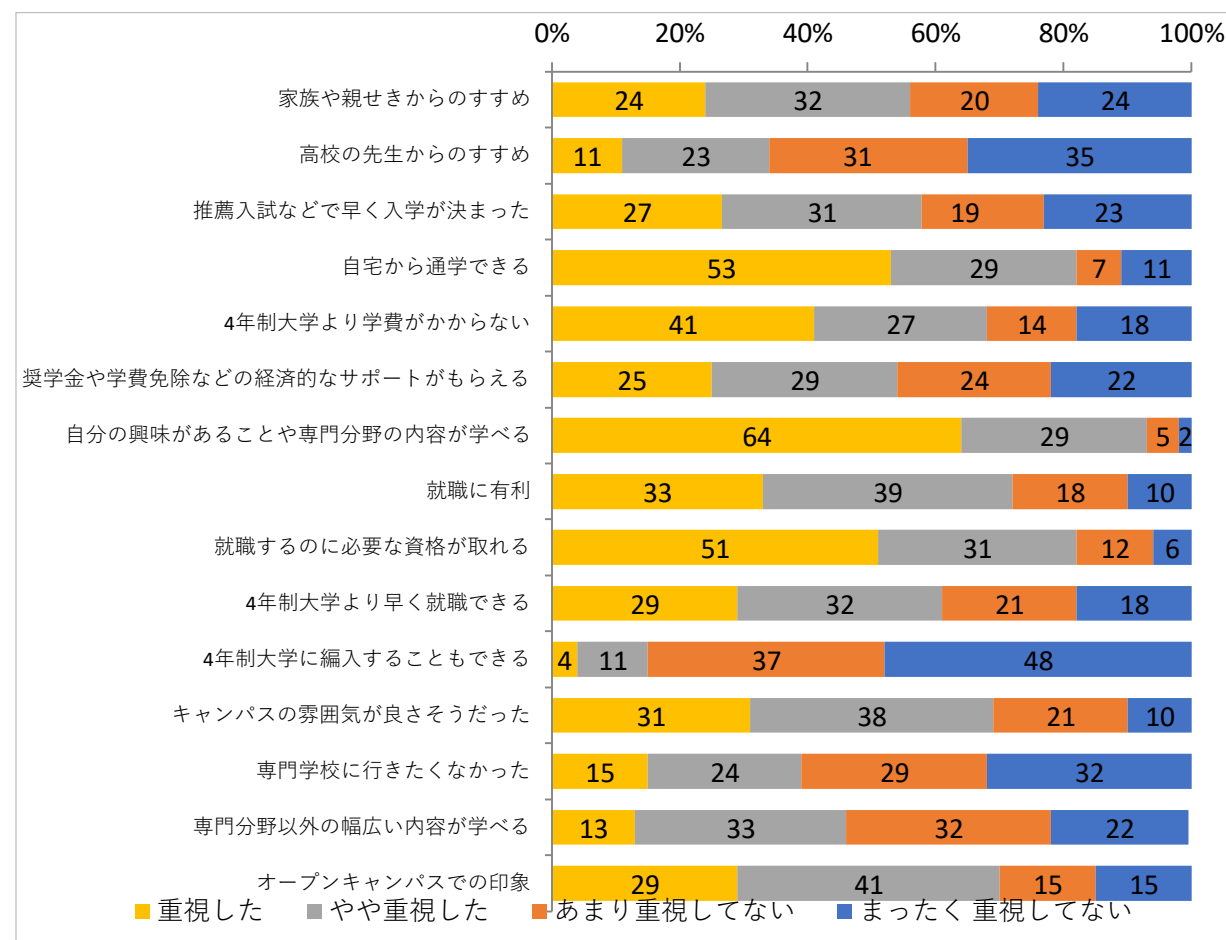
- フィードバック内容をもとに**参加校全体と自校の全体結果**を比べることで**自校や学科別の「立ち位置」**を把握する
- できれば単年度だけでなく複数年度でも確認するのが望ましい
 - ① 単に全国と比較して、自校の結果の優劣を把握する以外に、複数年度で**自校の回答をモニタリング**することで、**学生の回答傾向をつかむ**
 - ② **年度で回答に変化があるか**注目。例えばカリキュラムやプログラム内容の変更、担当教員の入れ替え、設備の更新、学生の特徴など**教育や学習環境の変化によって回答数（率）に違いがみられるかなどを確認**する

I：全体と自校（全体）の単年度比較 （2018年度調査 問9_進学選択時の重要度_項目順）

参加校全体2018年度（N=18,656）



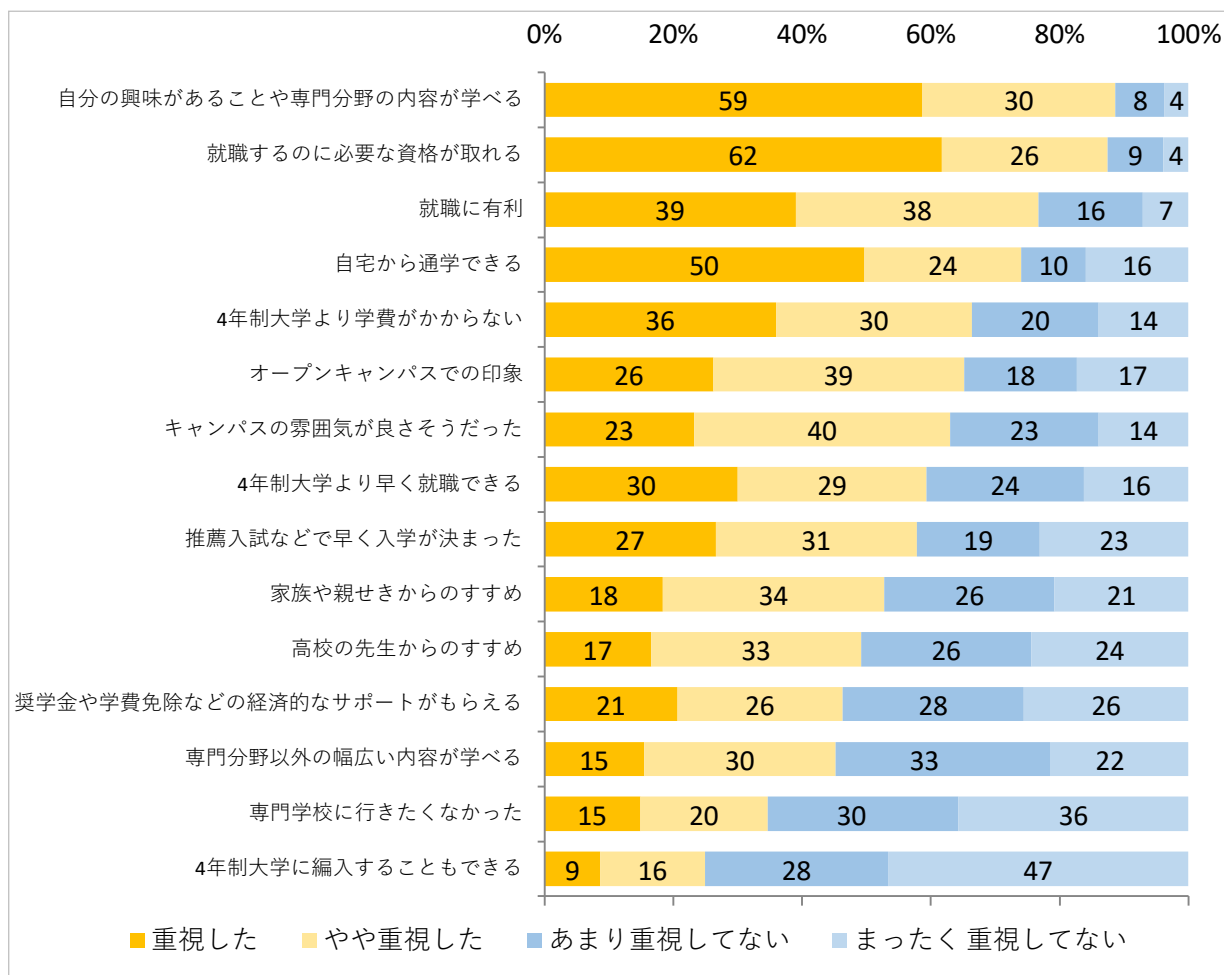
市ヶ谷短期大学全体2018年度（N=293）



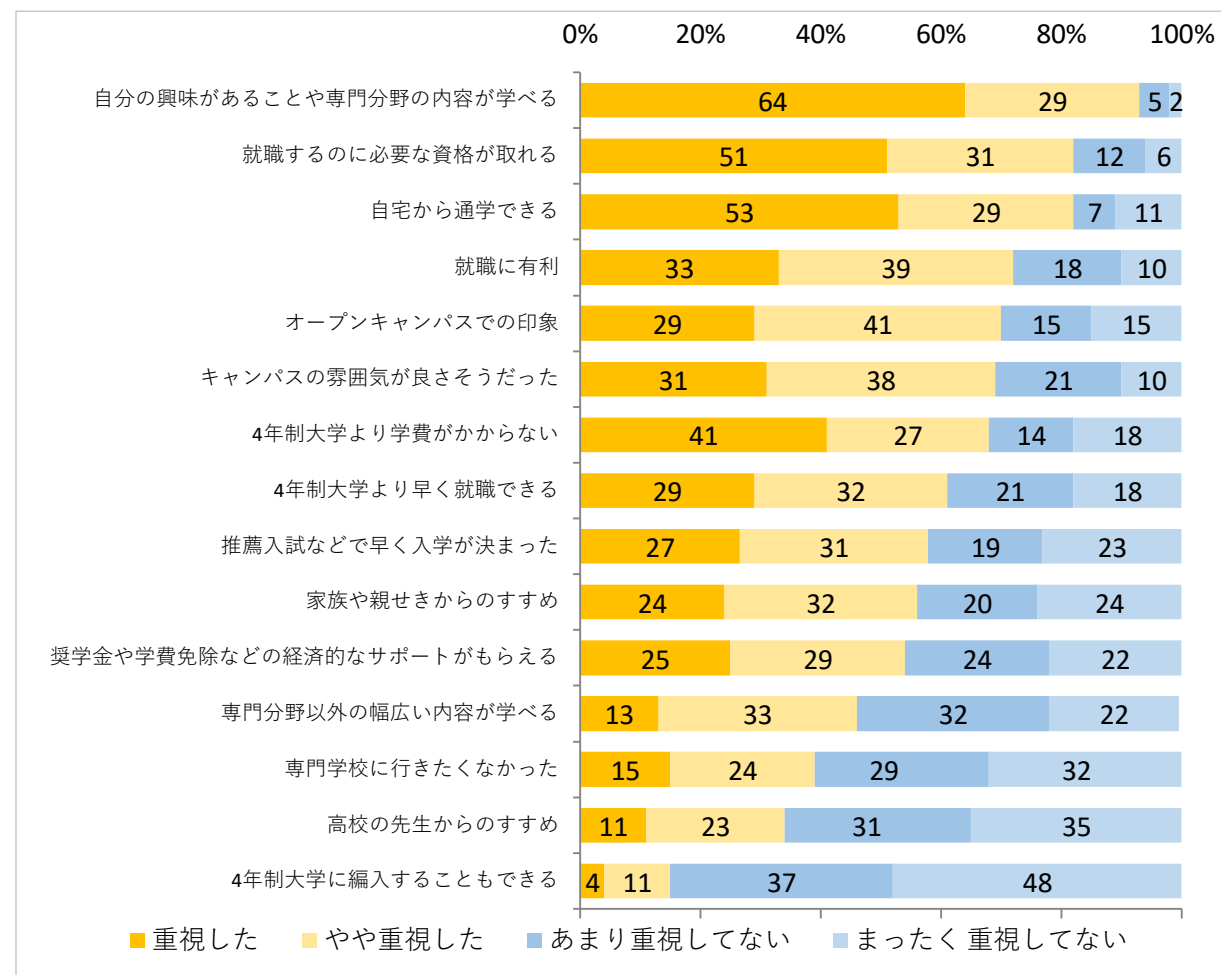
I：全体と自校（全体）の単年度比較

（2018年度調査 問9_進学選択時の重要度_回答割合降順）

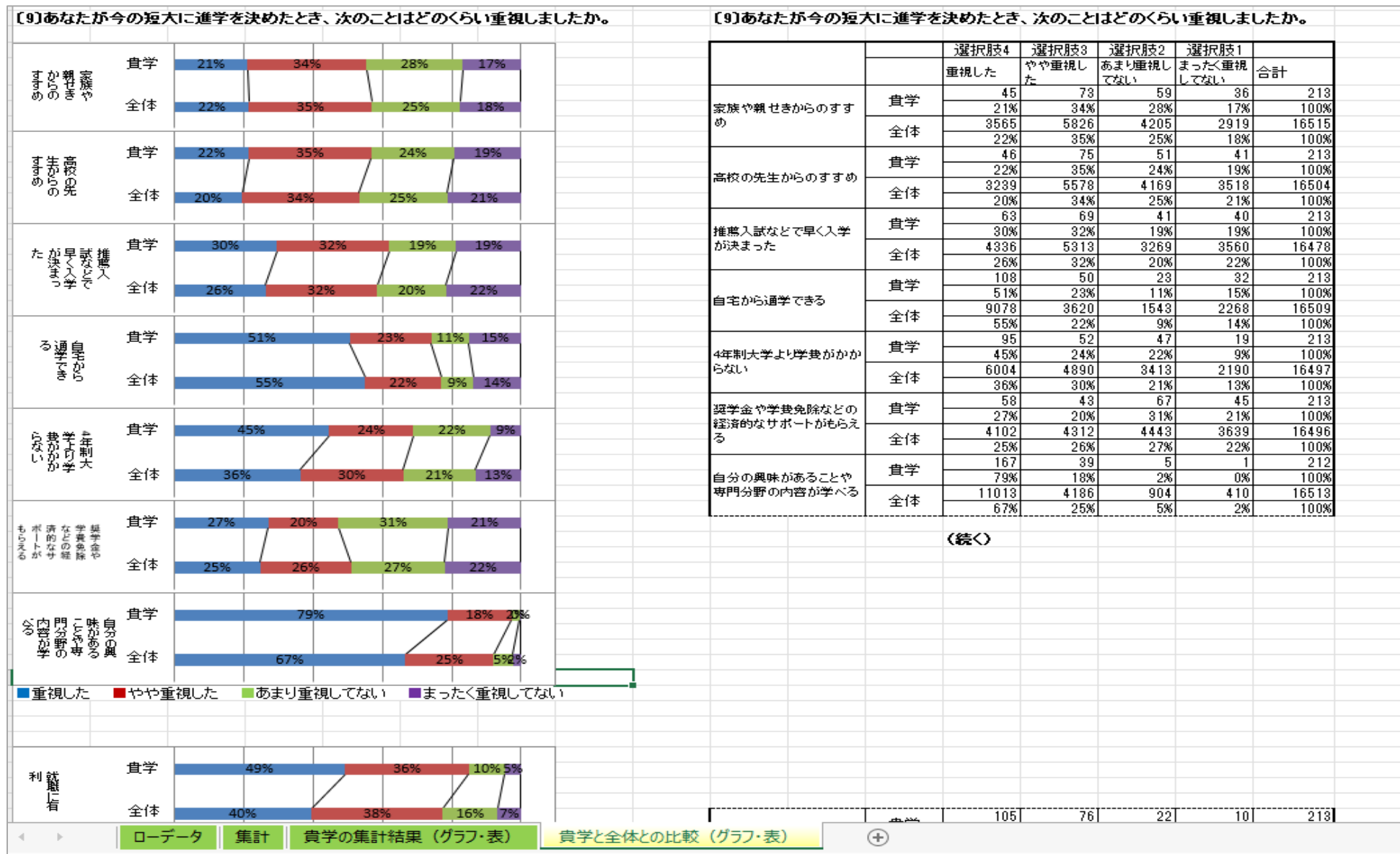
参加校全体2018年度（N=18,656）



市ヶ谷短期大学全体2018年度（N=293）



フィードバック内のグラフ・表作成用テンプレートでは 下記のグラフと表のように自校と参加校全体が比較可能

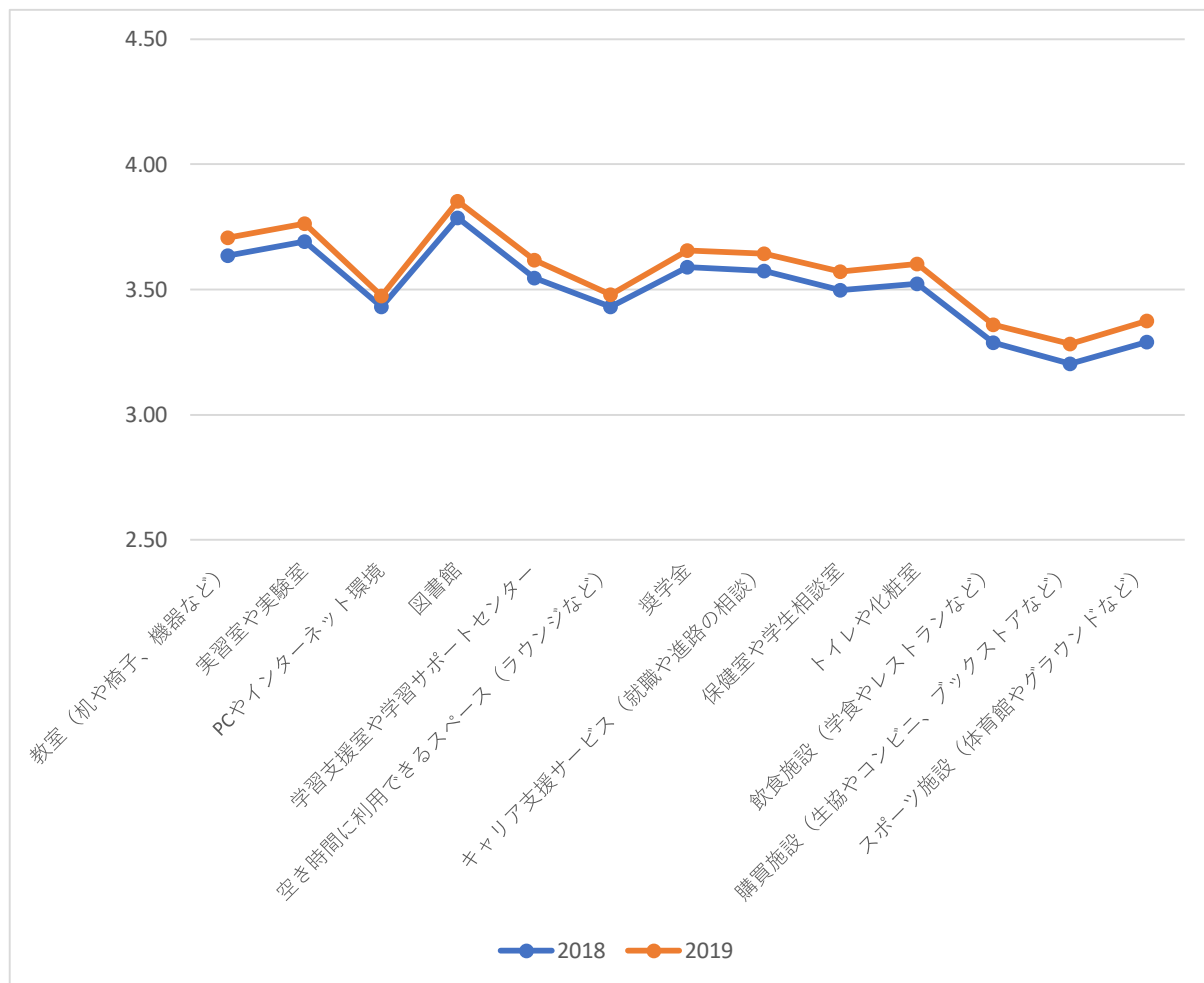


Ⅱ：全体と自校（全体）の複数年比較

問17 満足度（施設・学生サービス）2か年比較

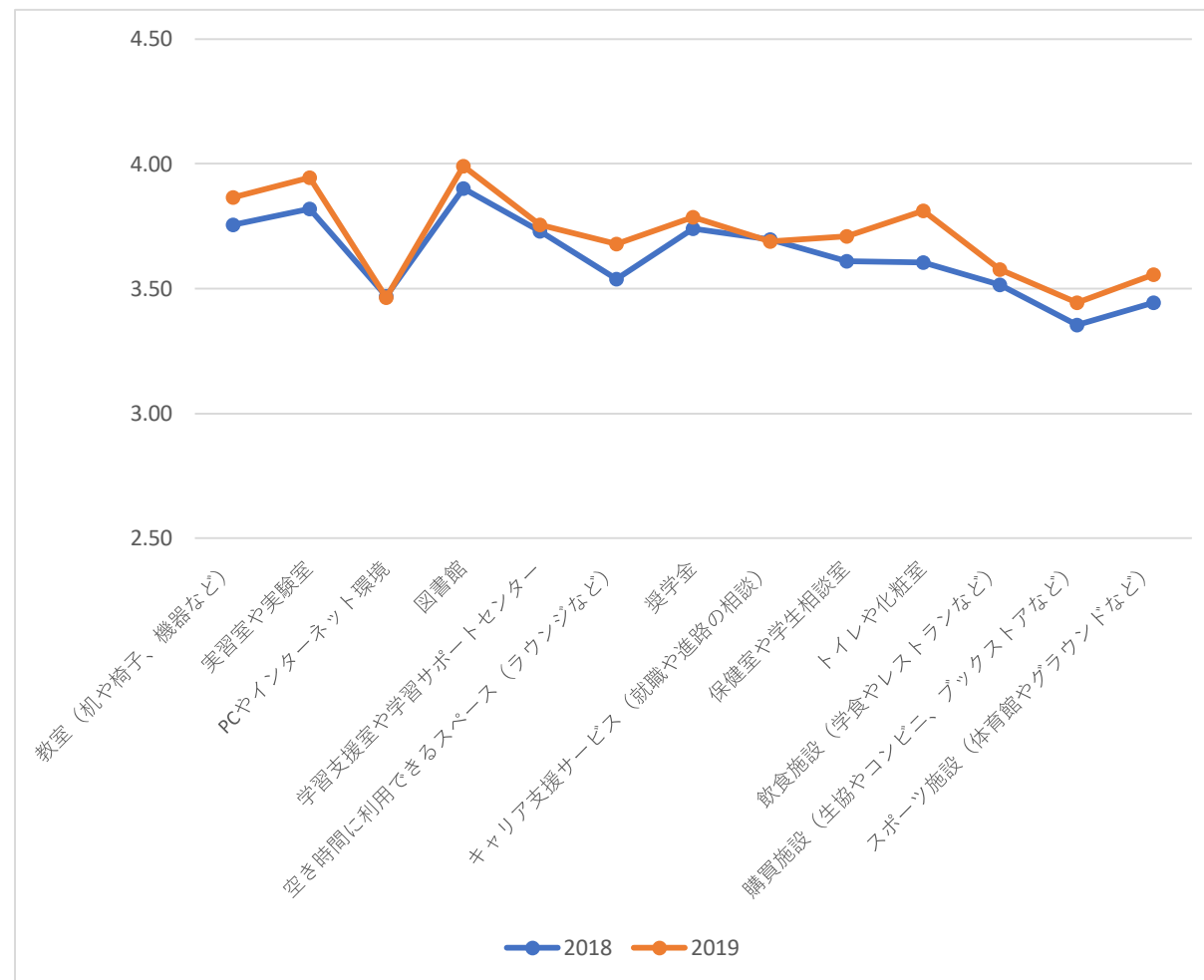
参加校全体（2018，19年度）

（2018:N=17,032 2019:N=20,849）



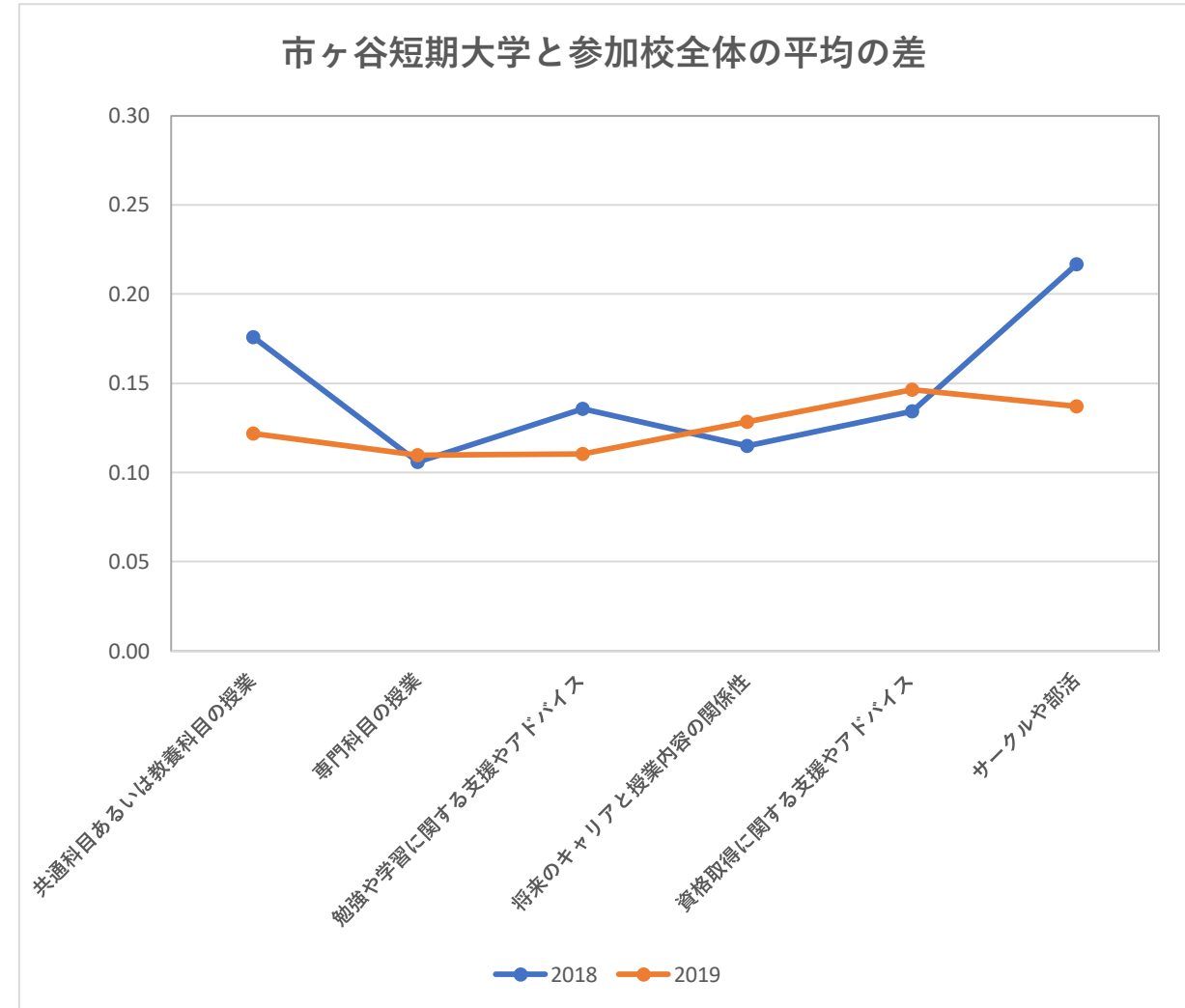
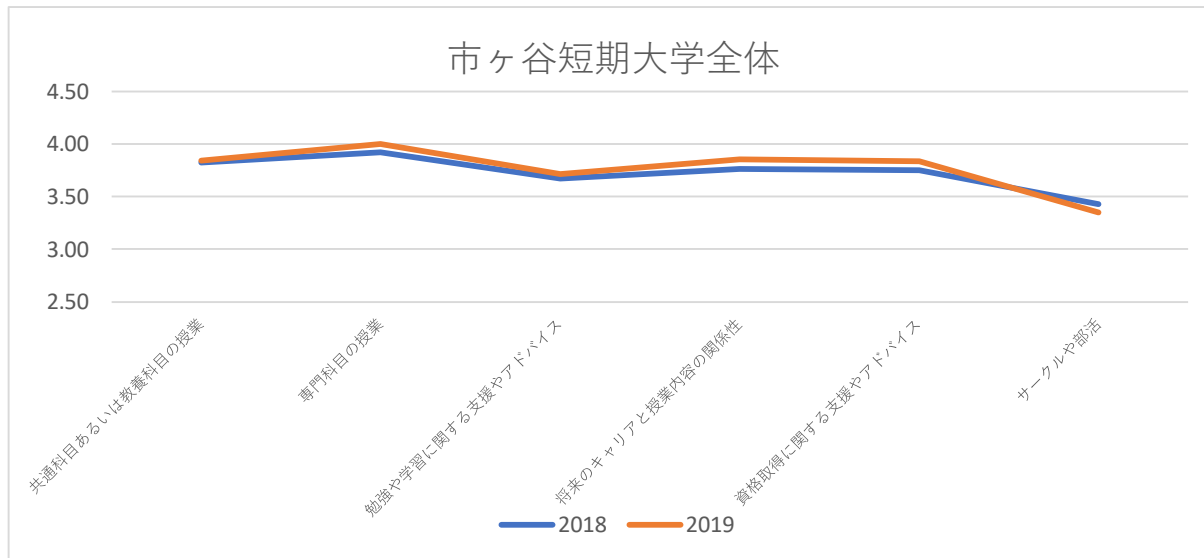
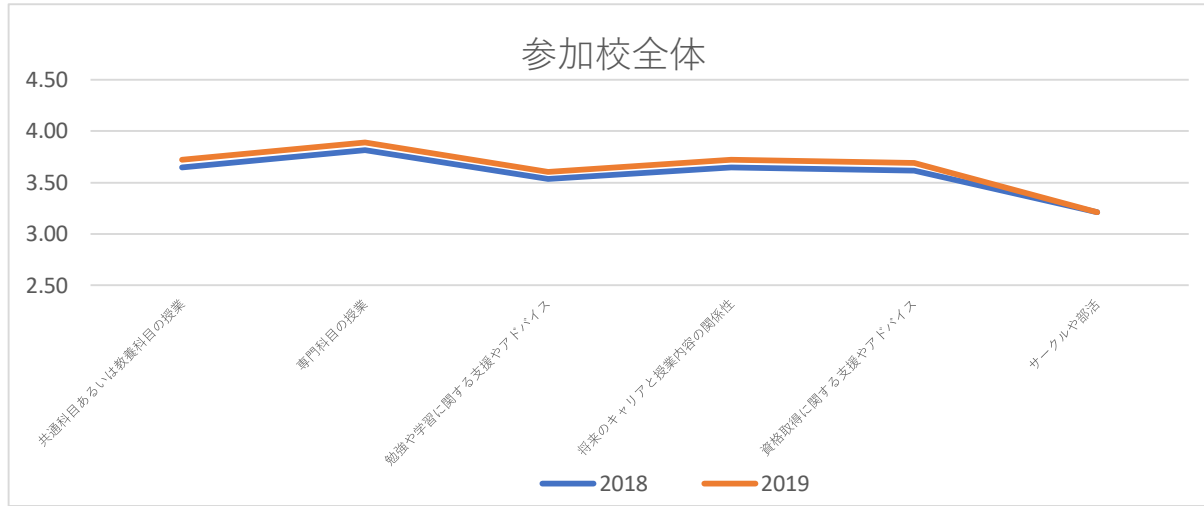
市ヶ谷短期大学全体（2018，19年度）

（2018:N=293 2019:N=289）



Ⅱ：全体と自校（全体）の複数年度比較

問18 満足度（教育）2か年比較

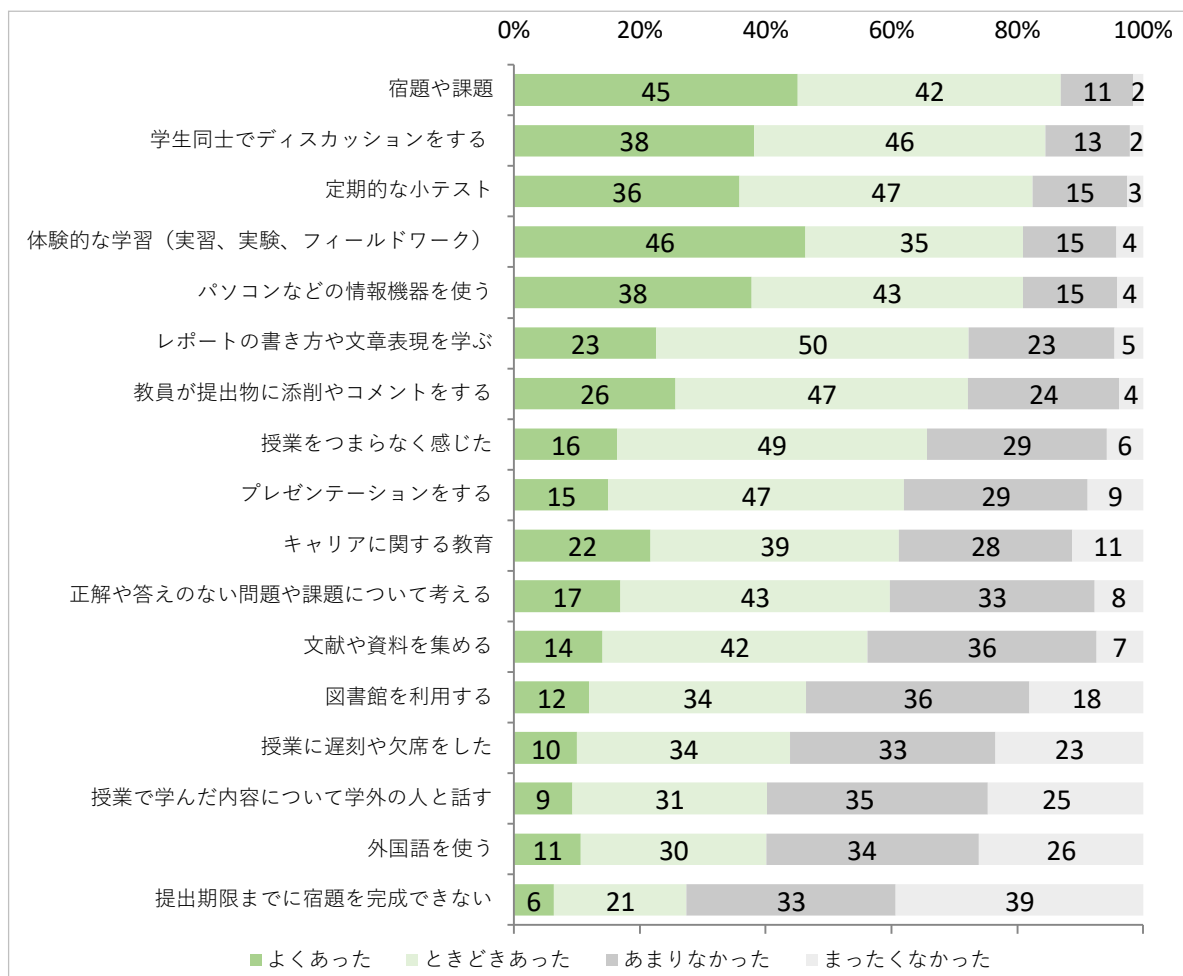


フィードバック内容を可視化する際のポイント (2)

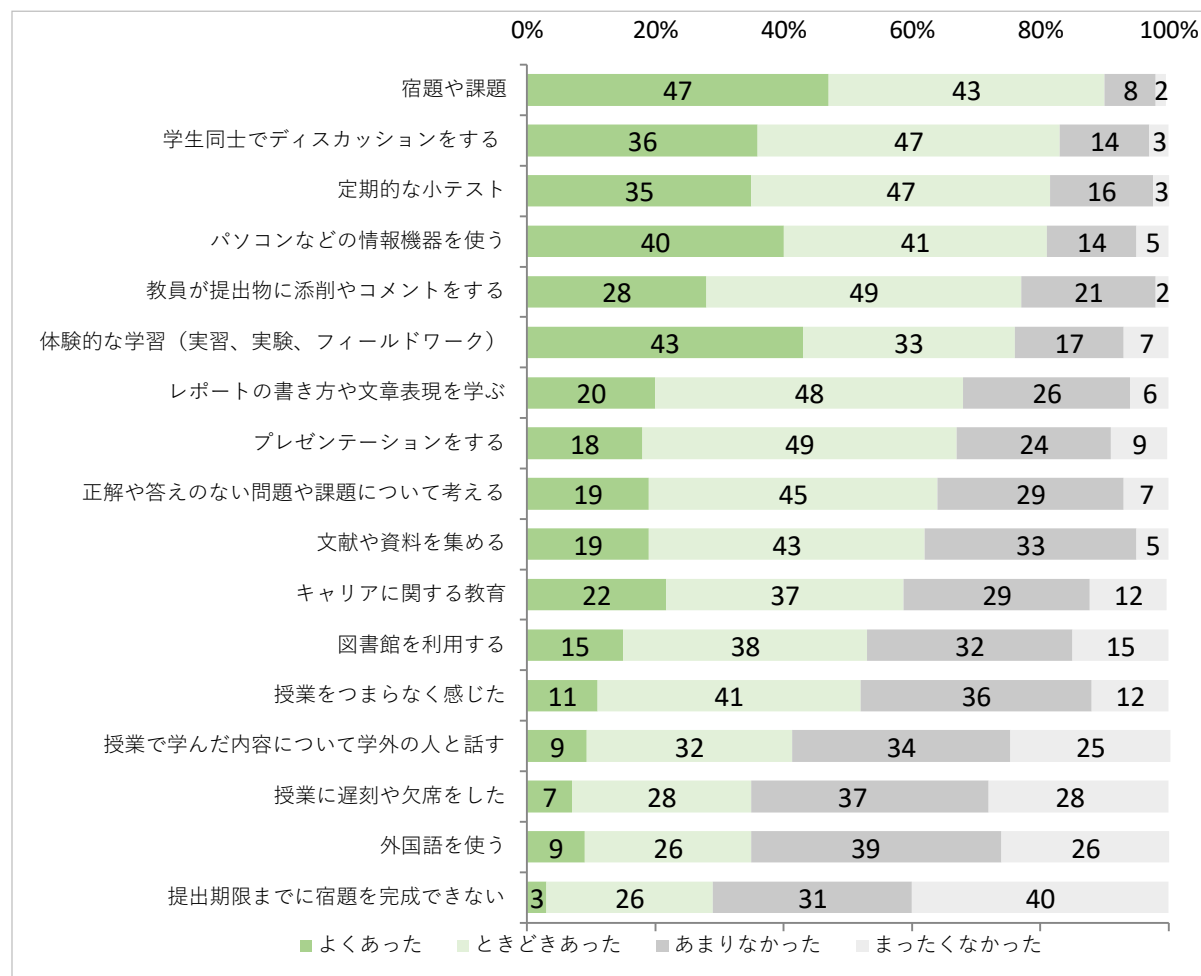
- 個別の短期大学内で比較する目的は、学年や所属学科・専攻課程によってどのような回答の特徴があるかを把握するため
- 学内で比較するときは、例えば性別、学年（年齢）、専門分野、入試区分といった属性情報を使って、回答傾向に違いがあるかを確認
 - ※一部はフィードバックファイル内にあるクロス集計全体結果にて比較が可能
- 上記以外に、調査の設問（例えば総合満足度の高い⇔低い）から学生群を作って比較することもできる
 - ※ローデータを使って学生分類を新たに作成する必要がある
- 調査時に学籍（学生）番号を収集している場合は、教務関連データ（成績情報、授業科目履修状況）などを参照して、成績の高群－低群と各設問の回答結果を比べることができる

Ⅲ：全体と自校（全体／学科別）の単年度比較 （2019年度調査 問11_授業における経験_回答割合降順）

参加校全体2019年度（N=20,849）



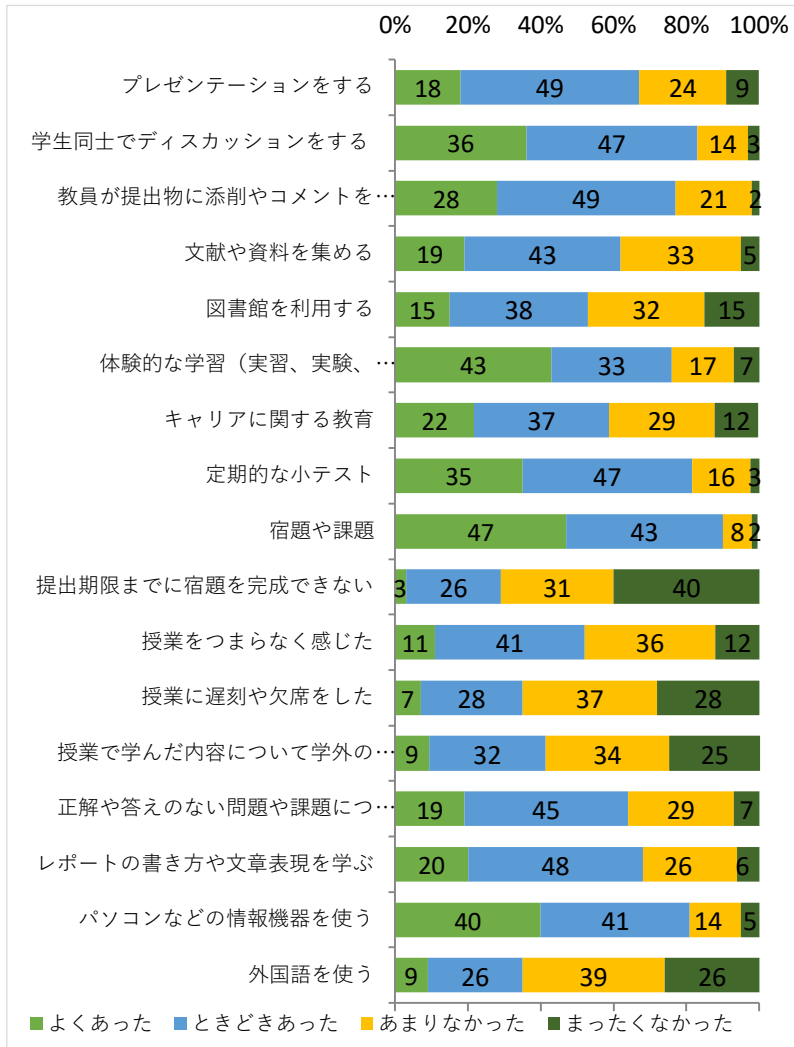
市ヶ谷短期大学全体2019年度（N=289）



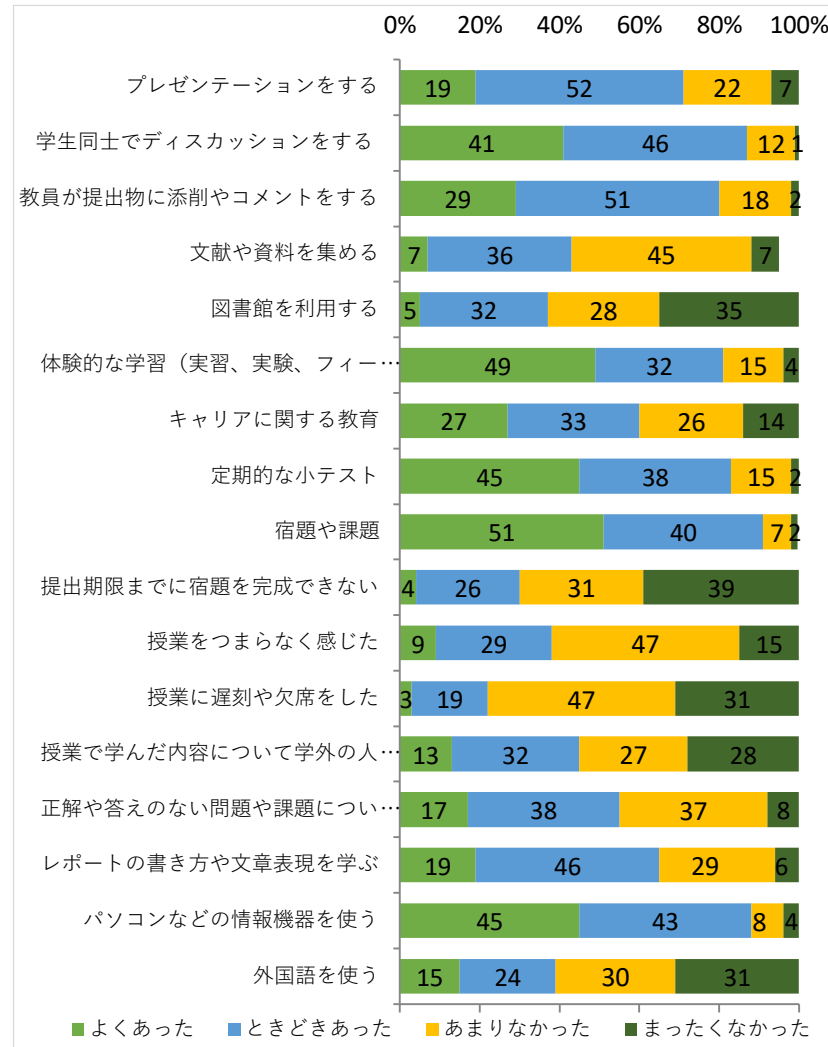
Ⅲ：自校（全体）と【学年別】の単年度比較

2019年調査 問11 授業における学習経験

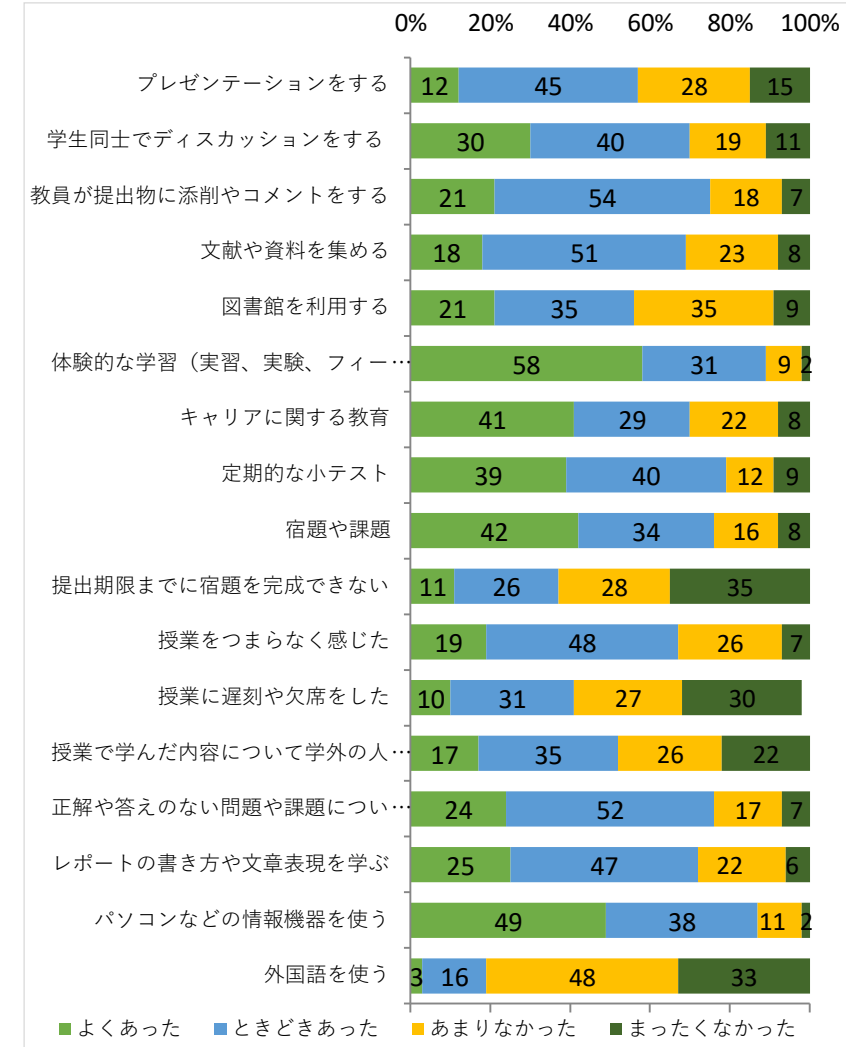
市ヶ谷短期大学全体（N=289）



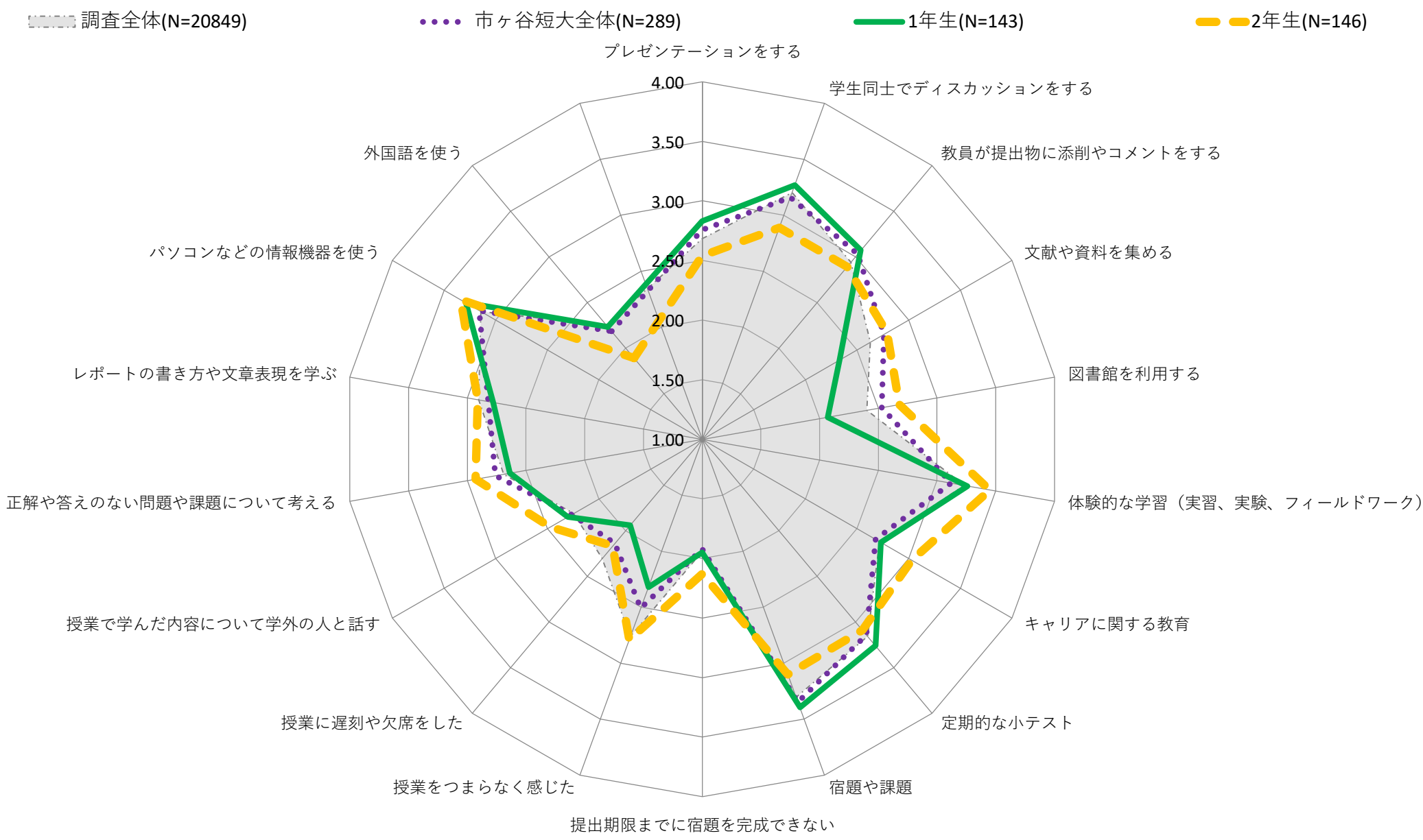
1年生（N=143）



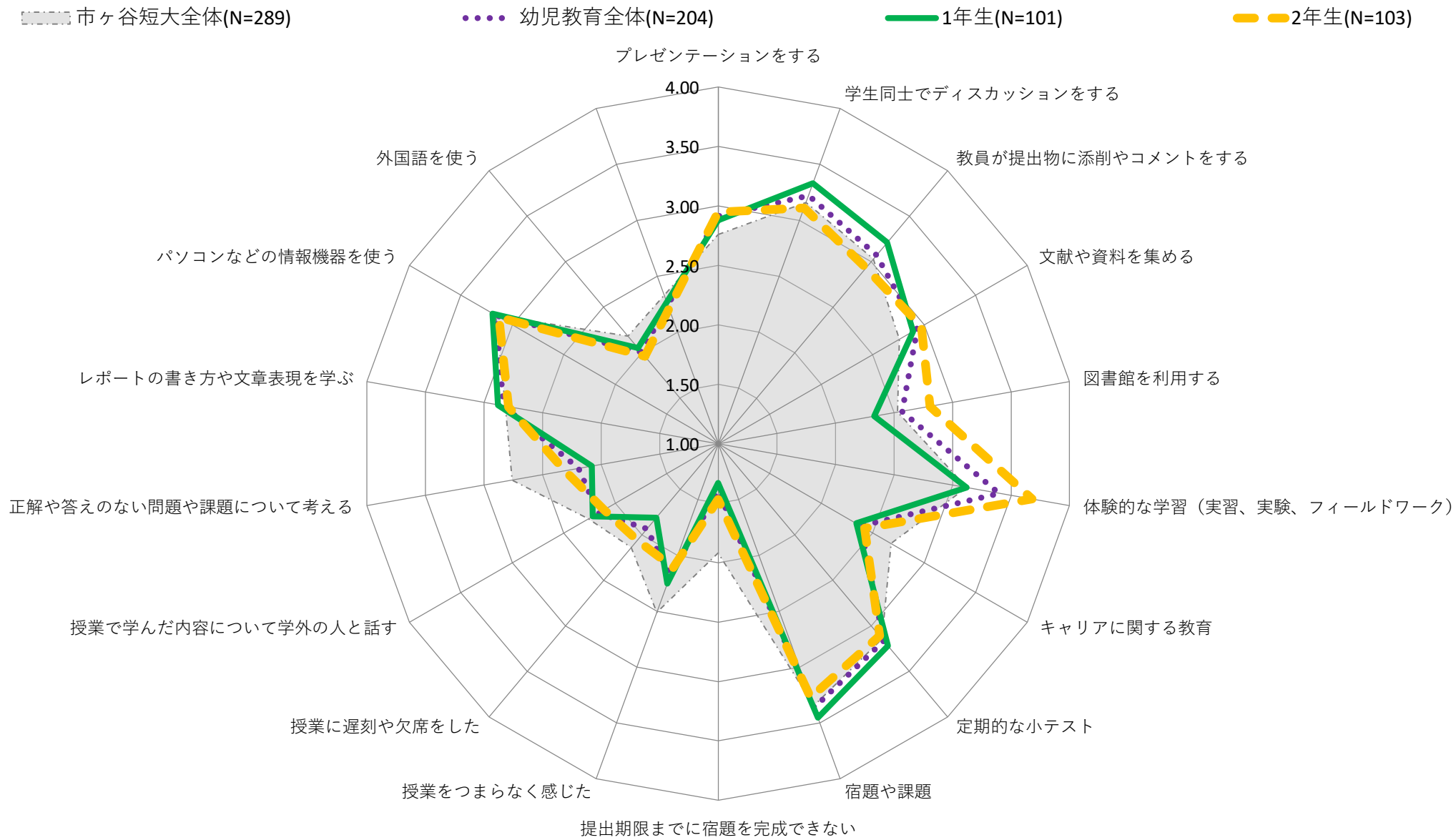
2年生（N=146）



市ヶ谷短期大学における授業経験の学年比較（平均値）



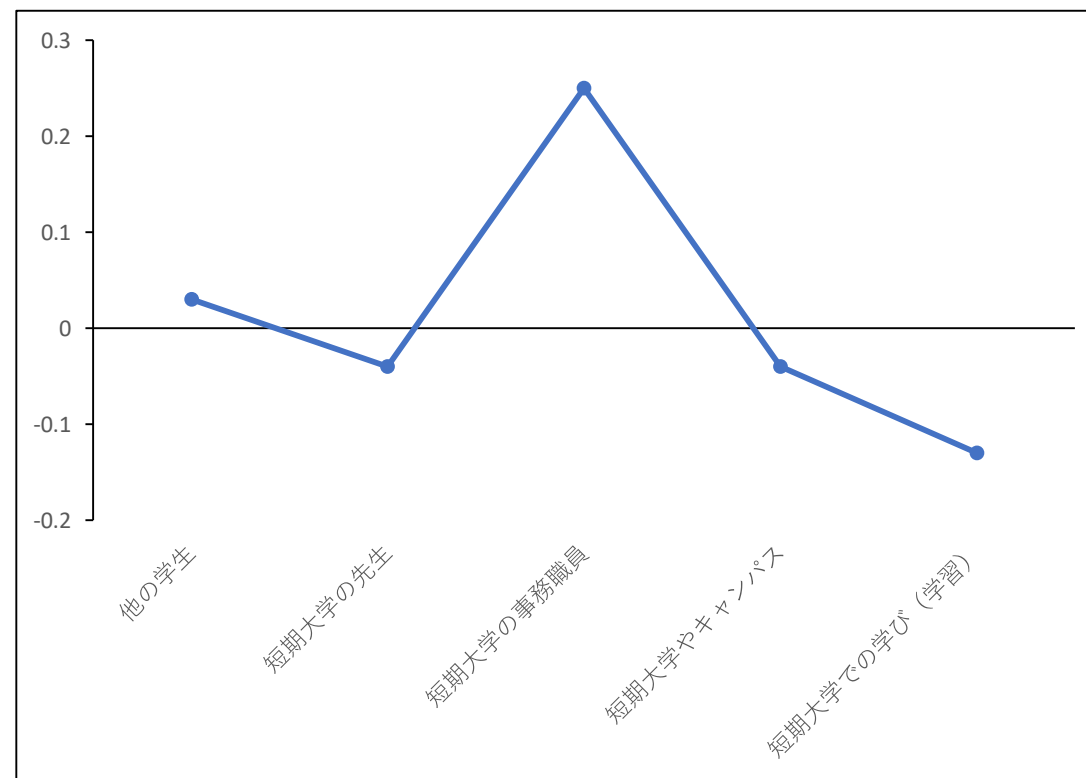
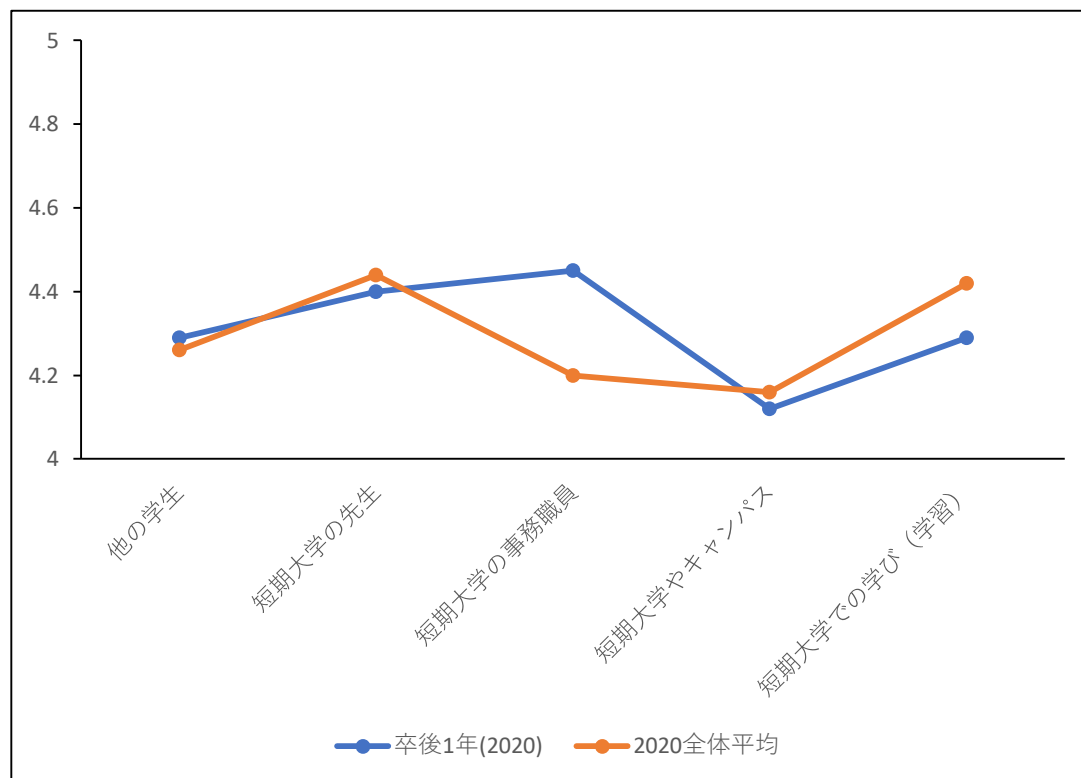
市ヶ谷短期大学における授業経験の学年比較（【幼児教育学科】）



2-2. 卒業生調査のデータ活用事例について

I : 全体と自校（全体）の単年度比較 (2020年度調査 問5_短大に対する総合評価_項目順)

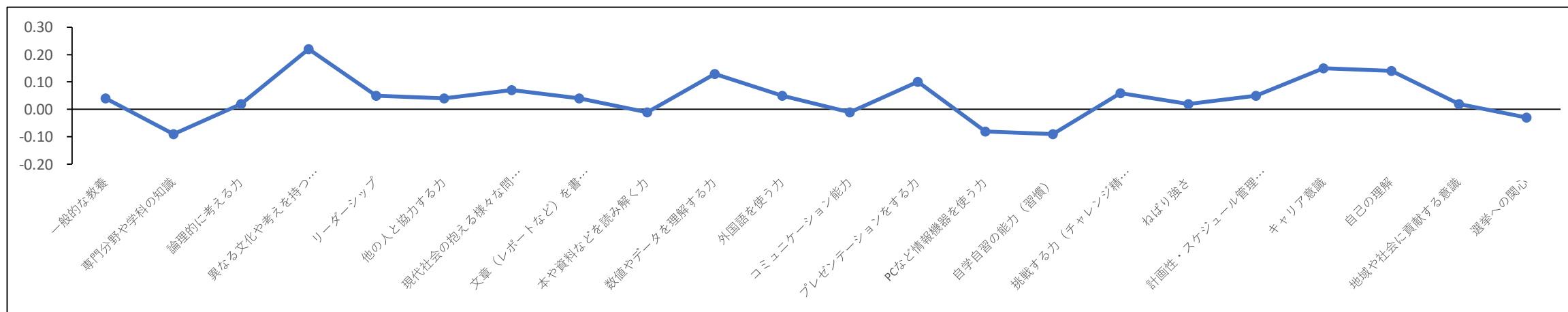
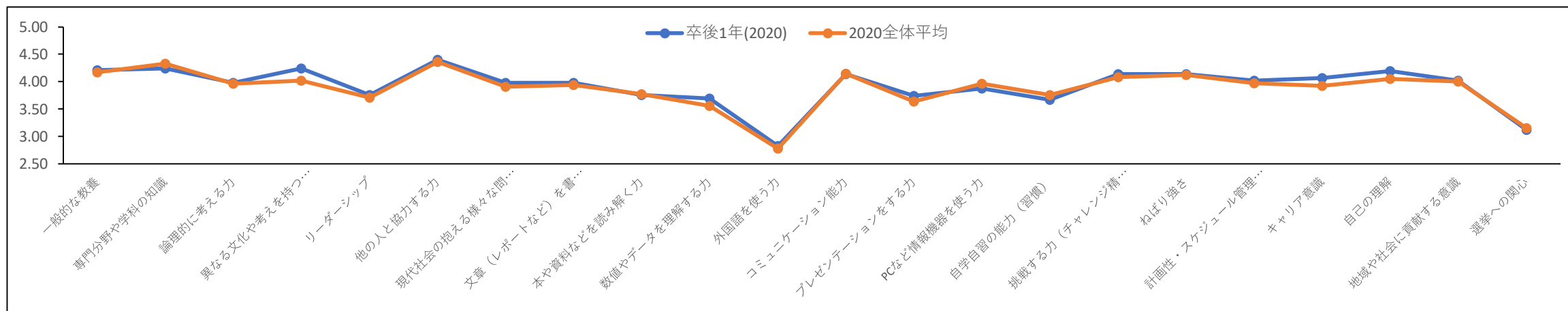
参加校全体2020年度 (N=1,928)
市ヶ谷短期大学卒業1年2020年度 (N=42)



I : 全体と自校（全体）の単年度比較

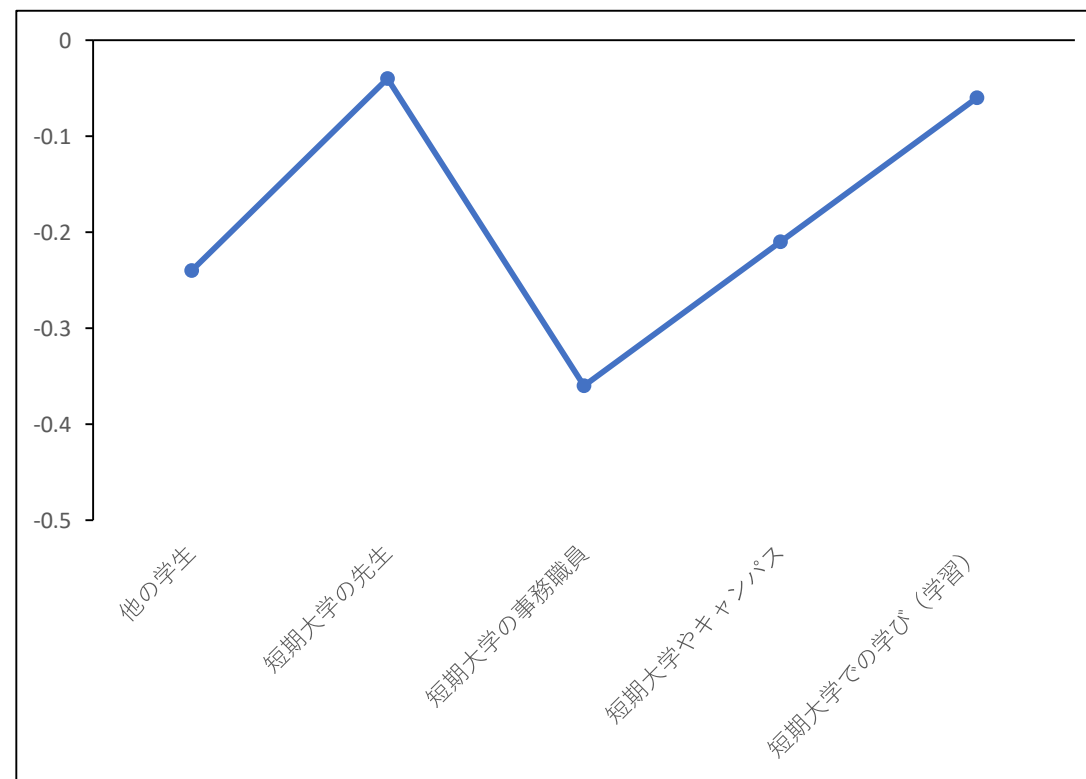
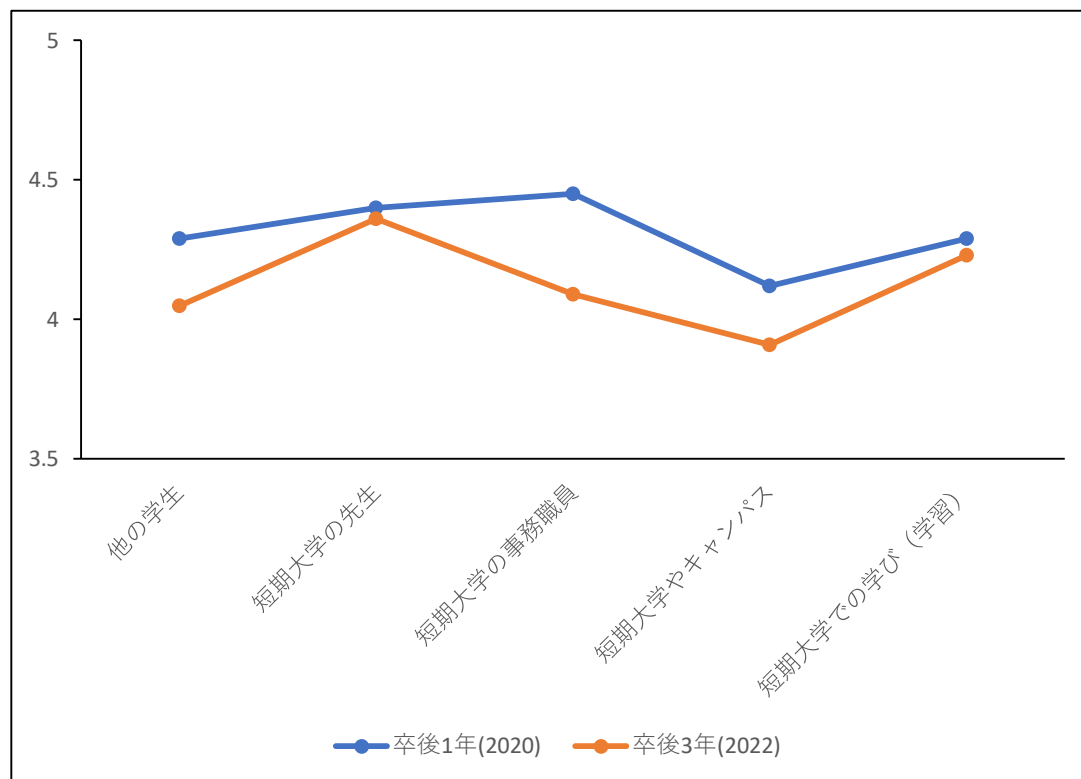
（2020年度調査 問6_短大教育の学修成果_項目順）

参加校全体2020年度（N=1,928）, 市ヶ谷短期大学卒後1年2020年度（N=42）



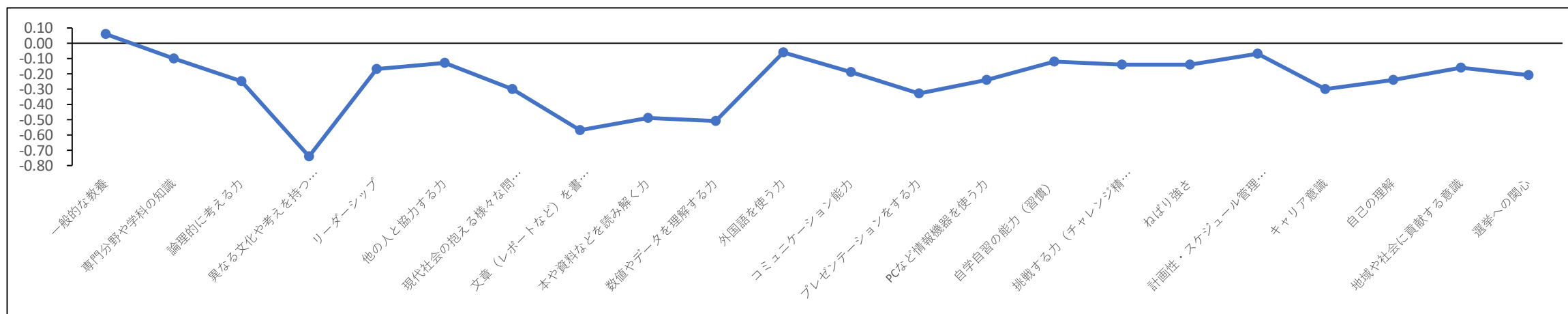
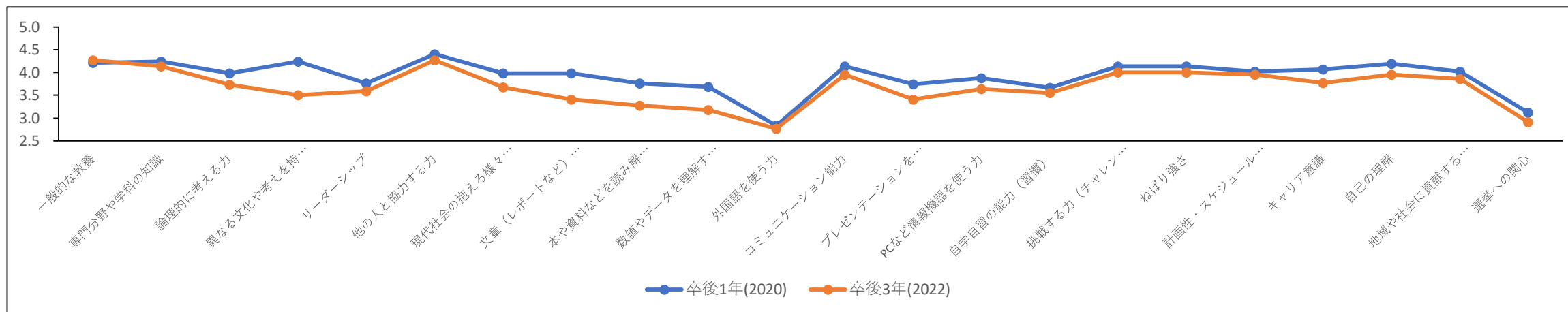
Ⅱ：自校内での経年（卒後1年・3年）比較 (2020・2022年度調査 問5_短大に対する総合評価_項目順)

市ヶ谷短期大学卒後1年2020年度 (N=42)
市ヶ谷短期大学卒後3年2022年度 (N=22)



Ⅱ：自校内での経年（卒後1年・3年）比較 （2020・2022年度調査 問6_短大教育の学修成果_項目順）

市ヶ谷短期大学卒後1年2020年度（N=42），市ヶ谷短期大学卒後3年2022年度（N=22）



2-3. 在学学生調査・卒業生調査のデータ活用事例について

在学生－卒業生2つの調査の経年比較分析： 同じ学年集団を追跡

- ・後半の活用事例紹介では、「**2018年度に入学し2019年度に卒業して、2020年度から就職している同一学年集団**」の状況を確認する

分析対象	2018年度												2019年度											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
2018-2019年度に在学し、短期大学生調査に回答	入学					1年生												2年生						卒業

分析対象	2020年度												2021年度												2022年度											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
2020年度から就職し、卒業生調査に回答					卒後1年目																								卒後3年目							

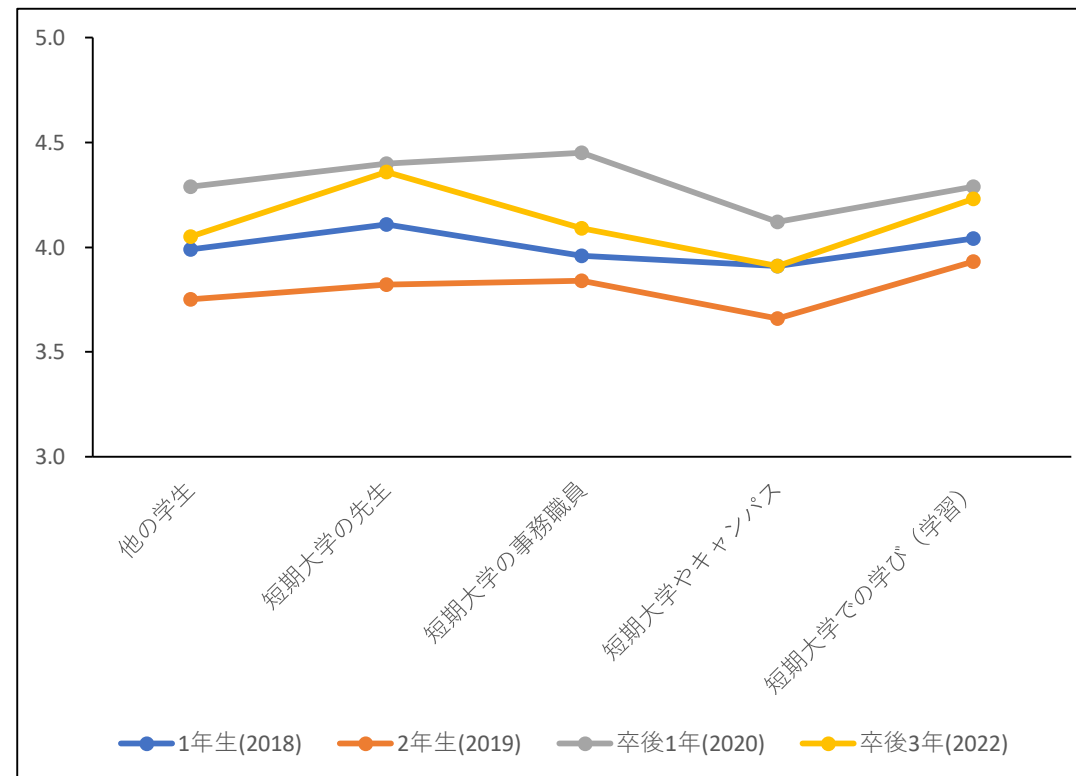
※注意点としては、短期大学生調査（在学生）では授業中などに実施することで回答数が多い反面、卒業生調査では卒後年数が増すにつれ回答数が減少する

I：自校内での経年（在学時・卒業後）比較

（2018・2019年度調査 問25_短大に対する総合満足度_項目順）

（2020・2022年度調査 問5_短大に対する総合評価_項目順）

市ヶ谷短期大学1年生2018年度（N=289），市ヶ谷短期大学2年生2019年度（N=289）
市ヶ谷短期大学卒後1年2020年度（N=42），市ヶ谷短期大学卒後3年2022年度（N=22）

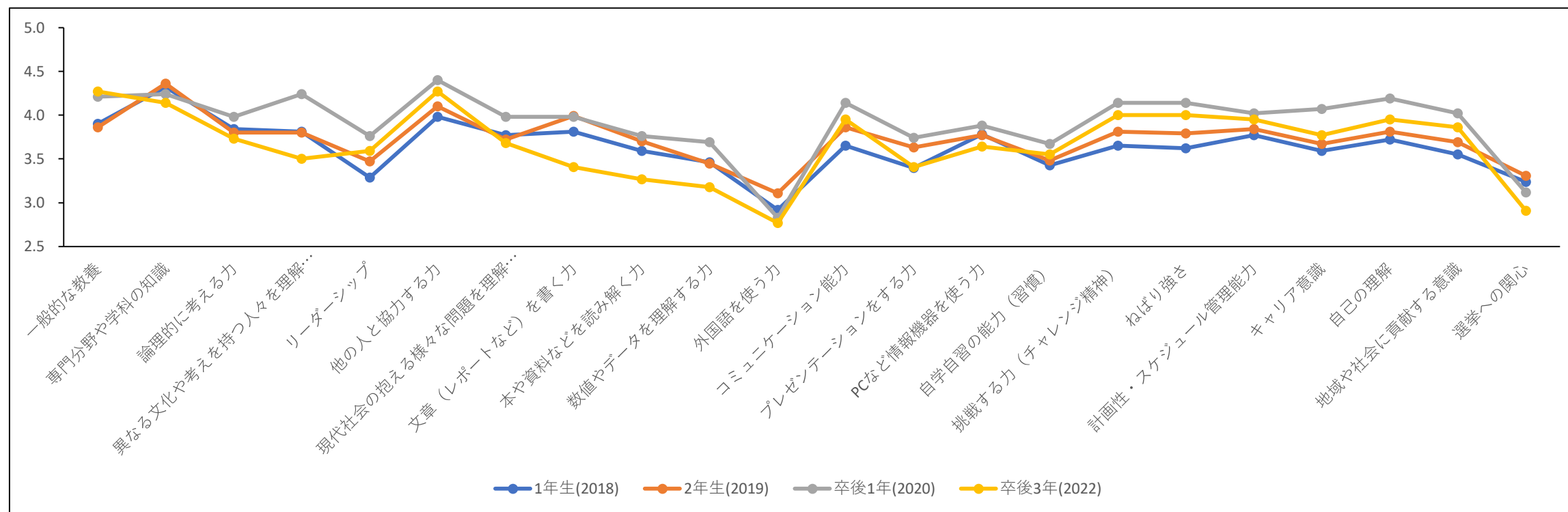


I：自校内での経年（在学時・卒業後）比較

（2018・2019年度調査 問19_短大教育の学修成果_項目順）

（2020・2022年度調査 問6_短大教育の学修成果_項目順）

市ヶ谷短期大学1年生2018年度（N=289），市ヶ谷短期大学2年生2019年度（N=289）
市ヶ谷短期大学卒後1年2020年度（N=42），市ヶ谷短期大学卒後3年2022年度（N=22）



フィードバック内容を可視化するにあたって

- 見やすい図表を作るにあたって、何を表現したいか＝関心のある設問や項目で特に何を確認したいか目的を持つことが重要
- 今回紹介したグラフは、「参加校全体と個別短大全体」比較や「個別短大内での学年」比較などが中心だが、回答分布や平均値などを単年度／複数年度で表現すれば、自校の学生の状況をさらに把握することができる（例年通りか？それとも何か特徴的な結果が出ているか？）
- 回答割合の大小を見たいなら「帯グラフ」、年度による変化を見たいなら「折れ線グラフ」、複数項目の傾向を一気に把握するなら「レーダーチャート」、設問項目同士の関係性を見たいなら「散布図」など、どれがわかりやすいか色々で作ってみる

ご清聴ありがとうございました